

精神科認定看護師教育課程

2026年度 シラバス



一般社団法人 日本精神科看護協会

目次

	ページ数
教育理念、教育目的、ディプロマ・ポリシー	1
カリキュラム	2
スケジュール	3
ディプロマ・ポリシーと各科目の関係性	4
共通科目	5
認定科目	33
演習・実習	56
参考資料	60

精神科認定看護師教育課程

基本理念

精神科看護の知識や技術を用いて質の高い精神科看護の実践・相談・指導ができる精神科認定看護師を養成する。

教育目的

質の高い精神科看護の実践・相談・指導ができる精神科認定看護師を養成するために、これまでに蓄積された知識や技術と最新のエビデンスを基盤として、精神科認定看護師に求められる能力を涵養し、総合的能力と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー

- ① 対象者が望む生活や希望を聴くことができる（実践）
- ② 知識を応用して看護実践に活かすことができる（実践）
- ③ 多様な課題を持つ対象者に質の高い看護実践ができる（実践）
- ④ 対象者や組織のニーズを踏まえて相談に応じることができる（相談）
- ⑤ 倫理的側面をとらえ、対象者の看護実践に活かすことができる（実践・相談・指導）
- ⑥ 自分の看護実践を言語化し、他者に伝えることができる（指導・知識の発展）
- ⑦ その時代に相応した看護実践の方法を理解することができる（知識の発展）
- ⑧ 精神科認定看護師として自己研鑽していく力を付けることができる（知識の発展）
- ⑨ 現場・組織・地域・社会の状況に応じた役割を選択し、看護実践できる
（実践・相談・指導・知識の発展）

精神科認定看護師教育課程 カリキュラム

科目区分	科目名	時間数
共通科目	臨床病態生理学	40
	臨床推論	60
	フィジカルアセスメント	60
	臨床薬理学	60
	疾病・臨床病態概論	55
	医療安全学／特定行為実践	60
	小計	335
認定科目	ライフサイクルとメンタルヘルス	15
	精神科看護に関連した法規と制度	15
	精神科医療の治療を支える技術	30
	精神科看護学	15
	精神科看護における看護倫理	15
	意思決定支援	15
	関係性を築く技術	15
	安全を守る技術	15
	地域生活を支える技術	15
	リエゾン精神看護	15
	看護研究	15
	教育論	15
	看護マネジメント論	15
	コンサルテーション論	15
	小計	225
演習・実習	総合演習	30
	臨地実習Ⅰ	135
	臨地実習Ⅱ	45
	小計	210
	総時間数	770

※時間数は「45分＝1時間」で表記している（みなし時間）

講義（共通科目・認定科目）：15時間＝2日間

演習：30時間＝4日間

実習：45時間＝6日間

※共通科目は厚生労働省の「特定行為に係る看護師の研修制度」に定められた学習内容を実施

2026年度（令和8年度）精神科認定看護師教育課程 スケジュール一覧

*税込価格

	研修会名	科目名	開催方法	日程	日数	受講料 (会員)	受講料 (非会員)
共通科目	共通科目 1	臨床病態生理学	VOD	4/2(木)~4/3(金) 4/6(月)~4/10(金) 4/13(月)~4/15(水)	10日間	31,900	63,800
	共通科目 2	臨床推論	VOD	4/17(金) 4/20(月)~4/24(金) 4/27(月)~4/29(水)	9日間	29,700	59,400
	共通科目 3	フィジカルアセスメント	VOD	5/1(金)~5/2(土) 5/12(火)~5/15(金)	6日間	19,800	39,600
	共通科目演習 1	臨床病態生理学 臨床推論	ライブ配信	5/6(水)~5/8(金)	3日間	18,700	37,400
	共通科目 4	臨床薬理学	VOD	5/18(月)~5/22(金) 5/25(月)~5/30(土)	11日間	36,300	72,600
	共通科目 5	疾病・臨床病態概論	VOD	6/2(火)~6/4(木) 6/9(火)~6/11(木) 6/16(火)~6/20(土)	11日間	40,700	81,400
	共通科目演習 2	フィジカルアセスメント	集合研修	6/5(金)~6/6(土) 6/7(日)~6/8(月)	2日間	9,900	19,800
	共通科目演習 3	臨床薬理学	ライブ配信	6/13(土)~6/14(日)	2日間	13,200	26,400
	共通科目 6	医療安全学/特定行為実践	VOD	6/23(火)~6/26(金) 6/29(月)~7/1(水)	7日間	27,500	55,000
	共通科目演習 4	疾病・臨床病態概論 医療安全学/特定行為実践	ライブ配信	7/9(木)~7/11(土)	3日間	18,700	37,400
	共通科目実習	臨床推論 フィジカルアセスメント 医療安全学/特定行為実践	集合研修	7/15(水)~7/20(月) 7/22(水)~7/27(月)	6日間	171,600	343,200
	科目修了試験	全共通科目(6科目)	オンライン	8/3(月)~8/5(水)	3日間	6,600	13,200
認定科目	認定科目 1	精神科看護学 精神科看護における看護倫理 意思決定支援	集合研修	8/8(土)~8/12(水)	5日間	35,200	70,400
	認定科目 2	ライフサイクルとメンタルヘルス	VOD	8/17(月)~8/20(木)	4日間	14,300	28,600
	認定科目 3	精神科看護に関連した法規と制度	VOD	8/24(月)~8/27(木)	4日間	14,300	28,600
	認定科目 4	精神科医療の治療を支える技術 看護研究	ライブ配信	8/30(日)~9/2(水)	4日間	27,500	55,000
	認定科目 5	精神科医療の治療を支える技術 関係性を築く技術 精神科看護学	集合研修	9/5(土)~9/9(水)	5日間	36,300	72,600
	認定科目 6	コンサルテーション論 教育論	集合研修	9/12(土)~9/15(火)	4日間	28,600	57,200
	認定科目 7	安全を守る技術 地域生活を支える技術	ライブ配信	9/18(金)~9/21(月)	4日間	28,600	57,200
	認定科目 8	リエゾン精神看護 看護マネジメント論	集合研修	9/24(木)~9/27(日)	4日間	28,600	57,200
演習・実習	総合演習	総合演習	原則として自施設 VOD、集合研修	9月~10月の指定された期間、他に 集合研修あり	4日間	45,100	90,200
	臨地実習 I	臨地実習 I	協会指定実習施設 集合研修	11月~1月の指定された期間、他に 集合研修あり	18日間	60,500	121,000
	臨地実習 II	臨地実習 II	原則として自施設 集合研修	11月~1月の指定された期間、他に 集合研修あり	6日間	20,900	41,800
	修了試験		東京研修会場	2/19(金)	1日間	22,000	44,000

※基本の講義時間（ライブ配信・集合研修）：9時~16時

※VOD（オンデマンド配信）の日数は1日3時間程度視聴した場合の日数

※集合研修の会場：東京研修会場（演習は東京研修会場およびその近隣）

※臨地実習Ⅰ、臨地実習Ⅱの全体会は1月下旬に東京都内で開催

※総合演習「実践演習報告会」（集合研修） 10/16（金）~10/18（日）

※臨地実習Ⅰ・臨地実習Ⅱ「全体会」（集合研修） 2027/1/24（日）

ディプロマ・ポリシーと各科目の関係性

ディプロマ・ポリシー		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		く対象者が望む生活や希望を聴	か知識を応用して看護実践に活	の多様な課題を持つ対象者に質	るえて相談に組織のニーズを踏ま	きる看護実践に活かすことが対象	の倫理的側面をとらえ、対象者	他者に伝える実践を言語化し、	るその時代に対応した看護実践	が研鑽していく看護力を付けて自己
精神科認定看護師の役割	実践	◎	◎	◎		○				○
	相談				◎	◎				○
	指導					○	◎			○
	知識の発展						◎	◎	◎	○
科目名										
共通科目	臨床病態生理学		◎	○	○					○
	臨床推論		◎	○	○					○
	フィジカルアセスメント		◎	○	○					○
	臨床薬理学		◎	○	○					○
	疾病・臨床病態概論		◎	○	○					○
	医療安全学／特定行為実践		◎	○	○	◎				○
認定科目	ライフサイクルとメンタルヘルス		◎	◎	○			○		○
	精神科看護に関連した法規と制度	○	◎	○		○		◎		○
	精神科医療の治療を支える技術	○	◎	◎	○	○		○		○
	精神科看護学		○	○			◎		◎	
	精神科看護における看護倫理	○	○	◎	○	◎	○	○		○
	意思決定支援	◎	○	◎	○	○				○
	関係性を築く技術	◎	○	◎	○	○	○		○	
	安全を守る技術	○	◎	◎	○	○		○		○
	地域生活を支える技術	○	◎	◎	○	○		○		○
	リエゾン精神看護	○	◎	◎	○	○		○		○
	看護研究		○	○	○		◎	○	◎	○
	教育論				◎	○	◎		○	
看護マネジメント論		○	○	◎			○		◎	
コンサルテーション論	○	○	◎	◎	○	○			○	
演習・実習	総合演習	○	○	○	○	○	◎	○	◎	◎
	臨地実習Ⅰ	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎
	臨地実習Ⅱ	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎

◎：強い関係性 ○：やや強い関係性

共通科目

※共通科目のシラバスは、学研メディカルサポートの許可を得て、
「看護師の特定行為研修」の共通科目のシラバスより一部を抜粋

研修会名 共通科目 1

方法 オンデマンド配信

日程 2026年 4月2日(木)～4月3日(金)、4月6日(月)～4月10日(金)、4月13日(月)～4月15日(水)

定員 80名

受講料(税込) 31,900円 (非会員 63,800円)

科目名	臨床病態生理学
科目担当講師	黒澤 昌洋 先生 (愛知医科大学看護学部)
日数	10日間
学習概要	臨床解剖学、臨床病理学、臨床生理学を学ぶ 1. 臨床解剖学 2. 臨床病理学 3. 臨床生理学
到達目標	①人体の正常な機能や構造、およびその破綻や調節機能異常に基づく症状やメカニズムを理解し、患者の身体を統合的に把握するための基本的な知識を身につける ②多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントし、必要な治療を理解してケアを導くための基本的な能力を身につける
研修方法/ 評価方法	講義 (放送授業) : e-ラーニングの受講/確認テスト
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
1. 臨床解剖学				
①神経系	TK1AL011	脳神経系	堤 健 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター 助教
	TK1AL041	脳動脈・脳静脈と髄液	田中 駿 先生	筑波大学附属病院 脳卒中科 病院助教
②循環器	TK1AL050	心臓の解剖	神尾 恭弘 先生	第一三共株式会社
③呼吸器	TK1AL070	胸部の解剖	友田 恒一 先生	川崎医科大学 総合内科学1教室 教授
	TK1AL080	上気道、下気道、肺胞の組織構造～換気から 拡散へ～	友田 恒一 先生	川崎医科大学 総合内科学1教室 教授
④消化管・ 肝胆膵	TK1AL090	消化器総論	宮崎 岳大 先生	山内診療所
	TK1AL100	口腔・咽頭と食道	佐々木 昭典 先生	がん・感染症センター 都立駒込病院 消化器内科
	TK1AL110	胃・十二指腸	坂本 貴志 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 外科
	TK1AL131	肝胆膵脾の解剖	宮崎 国久 先生	東京北医療センター 管理者/外科
⑤腎・泌尿器	TK1AL141	腎臓の解剖	伊藤 慎介 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科 医長
	TK1AL160	腎臓の機能～内分泌機能を中心に～	宮内 隆政 先生	聖路加国際病院 腎臓内科
⑥内分泌・代謝	TK1AL171	内分泌の解剖・生理学～甲状腺、副腎、視床 下部-下垂体～	北村 浩一 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
⑦免疫	TK1AL181	免疫学の基本	鈴木 翔太郎 先生	聖マリアンナ医科大学病院 リウマ チ・膠原病・アレルギー内科

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
⑧血液	TK1AL201	赤血球、白血球、血小板	山田 悠史 先生	Brookdale Department of Geriatrics and Palliative Medicine The Mount Sinai Hospital
⑨感覚器	TK1AL210	聴覚	山田 哲也 先生	伊東市民病院 耳鼻咽喉科科長/ 総合診療科科長
	TK1AL221	眼科	西本 浩之 先生	横須賀市立うわまち病院 眼科 部長/北 里大学医学部 眼科 講師
	TK1AL225	創傷治癒	入江 康仁 先生	秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座
2. 臨床病理学				
⑩呼吸器	TK1AL230	呼吸器疾患の病理	友田 恒一 先生	川崎医科大学 総合内科学1教室 教授
⑪消化管・ 肝胆膵	TK1AL240	上部消化管の検査	本村 廉明 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 消化器内科 部長
	TK1AL250	下部消化管の検査	本村 廉明 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 消化器内科 部長
⑫腎・泌尿器	TK1AL271	尿検査	伊藤 慎介 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科 医長
	TK1AL280	腎生検～適応から病理まで～	宮内 隆政 先生	聖路加国際病院 腎臓内科
⑬感染症	TK1AL291	病態微生物（細菌・真菌）～ミクロの世界から考える感染症～	若竹 春明 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター
	TK1AL310	ウイルス感染症	柳井 真知 先生	神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター
⑭悪性腫瘍	TK1AL320	腫瘍の病理学	井上 健 先生	大阪市立総合医療センター 病理診断科
⑮運動器	TK1AL330	神経筋疾患	藤井 修一 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
3. 臨床生理学				
⑯循環器	TK1AL340	心筋の収縮	神尾 恭弘 先生	第一三共株式会社
	TK1AL350	心臓の電気生理学	小島 俊輔 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科
⑰呼吸器	TK1AL370	呼吸運動と換気	中川 雅史 先生	東京女子医科大学 集中治療科
	TK1AL381	ガス交換と酸素運搬	中川 雅史 先生	東京女子医科大学 集中治療科 准教授
	TK1AL401	血液ガス分析総論	片岡 惇 先生	練馬光が丘病院 総合救急診療科 集中治療部門 科長
	TK1AL411	血液ガス分析実践	片岡 惇 先生	練馬光が丘病院 総合救急診療科 集中治療部門 科長
⑱消化管・ 肝胆膵	TK1AL420	消化管ホルモン（肝、膵）、消化と吸収	宮垣 亜紀 先生	公立豊岡病院組合立豊岡病院 消化器科
	TK1AL430	肝胆膵の生理・生化学	岩田 朋之 先生	東京北医療センター 消化器内科
⑲腎・泌尿器	TK1AL441	体内の水分と輸液	北村 浩一 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科 副部長
	TK1AL460	透析の基礎～透析の原理、処方と管理～	宮内 隆政 先生	聖路加国際病院 腎臓内科

参考書

学研メディカルサポートの配布資料を参照

研修会名 共通科目2

方法 オンデマンド配信

日程 2026年 4月17日(金)、4月20日(月)～4月24日(金)、4月27日(月)～4月29日(水)

定員 80名

受講料(税込) 29,700円 (非会員 59,400円)

科目名	臨床推論
科目担当講師	佐藤 孝子 先生 (東海大学看護師キャリア支援センター)
日数	9日間
学習概要	臨床診断学、臨床検査学、症候学、臨床疫学を学ぶ 1. 診療のプロセス 2. 臨床推論 (症候学を含む) の理論 3. 医療面接の理論 4. 各種臨床検査の理論 心電図/血液検査/尿検査/病理検査/微生物学検査/生理機能検査/その他の検査 5. 画像検査の理論 放射線の影響/単純エックス線検査/超音波検査/CT・MRI/その他の画像検査 6. 臨床疫学の理論
到達目標	①多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践するための臨床推論および医療面接の知識と実践能力を身につける ②多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントし、必要な治療を理解してケアを導くための基本的な能力を身につける ③患者の診療に必要な情報源 (医療面接、各種臨床検査、画像検査、臨床疫学など) を理解し、患者の意向や生活の質に配慮しつつ、患者の病態に基づいたケアが提案できる
研修方法/ 評価方法	講義 (放送授業) : e-ラーニングの受講/確認テスト
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
1. 診療のプロセス				
①導入	TK1BL010	診療のプロセス	森川 大樹 先生 平岡 栄治 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教 東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科 部長
	TK1BL021	臨床推論～診断を中心に～	平岡 栄治 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科 部長
2. 臨床推論 (症候学を含む) の理論				
②臨床推論	TK1BL031	尿異常	渡部 弥生 先生 藤谷 茂樹 先生	聖マリアンナ医科大学病院 診療看護師技術部 聖マリアンナ医科大学 救急医学
	TK1BL041	胸痛	小島 俊輔 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科
	TK1BL051	呼吸困難	大木 初里 先生 内藤 貴基 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院 救命救急センター 聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
	TK1BL061	発熱	舩越 拓 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 救急外来部門 部長
	TK1BL065	意識障害	佐藤 健太郎 先生 内藤 貴基 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 任期付助教 聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
3. 医療面接の理論				
③医療面接	TK1BL070	医療面接の理論	森川 大樹 先生 平岡 栄治 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教 東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科 部長
4. 各種臨床検査の理論				
④心電図	TK1BL290	心電図1～心電図の原理について～	榎井 良裕 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命 救急センター長/副院長 聖マリアンナ医科大学 救急医学 教授
	TK1BL300	心電図2～心電図判読順序～	榎井 良裕 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命 救急センター長/副院長 聖マリアンナ医科大学 救急医学 教授
	TK1BL310	心電図3～急性冠症候群診断～	榎井 良裕 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命 救急センター長/副院長 聖マリアンナ医科大学 救急医学 教授
	TK1BL320	心電図4～不整脈診断～	榎井 良裕 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命 救急センター長/副院長 聖マリアンナ医科大学 救急医学 教授
⑤血液検査・ 尿検査	TK1BL091	検査値の読み方・考え方	森川 大樹 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
⑥病理検査	TK1BL101	病理検査	井上 健 先生	大阪市立総合医療センター 病理部・病理診 断科 部長
⑦微生物学検査	TK1BL330	感染症の臨床推論1～感染症の診断～	山崎 行敬 先生	百合ヶ丘駅前クリニック 院長
	TK1BL340	感染症の臨床推論2～感染症の治療と症例の検 討～	山崎 行敬 先生	百合ヶ丘駅前クリニック 院長
⑧生理機能検査	TK1BL130	呼吸機能検査	則末 泰博 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科部長/呼吸器内科部長
⑨その他の検査	TK1BL120	症例から学ぶ感染症診療の考え方	織田 鎌太郎 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 感染症内科医長/感染対策室室長
5. 画像検査の理論				
⑩放射線の影響	TK1BL170	放射線科と看護	松本 純一 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 救急放射線部
	TK1BL220	造影剤副作用～アナフィラキシーを中心に～	松本 純一 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 救急放射線部
⑪単純エックス 線検査・CT・ MRI	TK1BL181	X線① X線検査の概要～放射線と単純X線検査 ～	松本 純一 先生 大村 樹 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 救急放射線部 聖マリアンナ医科大学病院 画像センター
	TK1BL191	X線② ポータブルX線検査	松本 純一 先生 高橋 智 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 救急放射線部 聖マリアンナ医科大学病院 画像センター
	TK1BL195	CTの基礎と読影	松本 純一 先生 小川 泰良 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 救急放射線部 聖マリアンナ医科大学病院 画像センター
	TK1BL201	MRI	松本 純一 先生 福地 博史 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 救急放射線部 聖マリアンナ医科大学病院 画像センター
	TK1BL211	IVRとその他の画像検査	松本 純一 先生 宅間 洸士郎 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 救急放射線部 聖マリアンナ医科大学病院 画像センター

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
⑫超音波検査	TK1BL270	超音波検査1～超音波診断の基礎～	野村 岳志 先生	東京女子医科大学 集中治療科 教授
	TK1BL280	超音波検査2～超音波診断 各論～	野村 岳志 先生	医療法人徳洲会 周術期医療地域支援室 室長
⑬その他の画像検査	TK1BL241	核医学検査	岩澤 孝昌 先生	横須賀市立うわまち病院 循環器内科 部長/ 集中治療部 部長
6. 臨床疫学の理論				
⑭臨床疫学	TK1BL250	研究の読み方1～統計用語の理解とEBM～	遠藤 慶太 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科フェロー
	TK1BL260	研究の読み方2～研究デザインとJournal club～	岡本 賢太郎 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学

参考書				
学研メディカルサポートの配布資料を参照				

研修会名	共通科目 3
方法	オンデマンド配信
日程	2026年 5月1日(金)～5月2日(土)、5月12日(火)～5月15日(金)
定員	80名
受講料(税込)	19,800円 (非会員 39,600円)

科目名	フィジカルアセスメント
科目担当講師	本田 明 先生 (医療法人社団悠翔会)
日数	6日間
学習概要	身体診察・診断学を学ぶ 1. 身体診察基本手技の理論 2. 部位別身体診察手技と所見の理論 全身状態とバイタルサイン/頭頸部/胸部/腹部/四肢・脊柱/泌尿・生殖器/乳房・リンパ節/神経系 3. 身体診察の年齢による変化 小児/高齢者 4. 状況に応じた身体診察 救急医療/在宅医療
到達目標	①多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践するためのフィジカルアセスメントの知識と実践能力を身につける ②多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントし、必要な治療を理解してケアを導くための基本的な能力を身につける ③患者年齢や状況に応じて、頭から爪先までの全身の系統的な身体診察と的を絞った身体診察を使い分け、手技を自分の型にする
研修方法/ 評価方法	講義 (放送授業) : e-ラーニングの受講/確認テスト
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
1. 身体診察基本手技の理論				
①基本	TK1CL010	身体診察基本手技	藤原 直樹 先生	練馬光が丘病院 総合診療科 部長
2. 部位別身体診察手技と所見の理論				
②全身状態と バイタル サイン	TK1CL015	全身状態とバイタルサイン	北野 夕佳 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教/ 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター
③頭頸部	TK1CL020	HEENT (head, ears, eyes, nose, throat)	山田 哲也 先生	伊東市民病院 耳鼻咽喉科科長/総合診療科科長

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
④胸部	TK1CL160	循環器1	岩澤 孝昌 先生	横須賀市立うわまち病院 循環器内科 部長/集中治療部 部長
	TK1CL170	循環器2	岩澤 孝昌 先生	横須賀市立うわまち病院 循環器内科 部長/集中治療部 部長
	TK1CL180	循環器3	岩澤 孝昌 先生	横須賀市立うわまち病院 循環器内科 部長/集中治療部 部長
	TK1CL190	呼吸器1	高田 順子 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター リ ハビリテーション室/呼吸療法チーム
	TK1CL200	呼吸器2	高田 順子 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター リ ハビリテーション室/呼吸療法チーム
⑤腹部	TK1CL050	腹部	窪田 忠夫 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 外科プログラムディレクター
⑥四肢・脊柱	TK1CL060	筋骨格	仲津留 恵日 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 整形外科 医長
⑦泌尿・生殖器	TK1CL071	腎・泌尿器	内田 一好 先生	浦安やなぎ通り診療所 院長/東京ベ イ・浦安市川医療センター 腎臓・内 分泌・糖尿病内科 非常勤医師
	TK1CL080	産婦人科	伊藤 雄二 先生	市立恵那病院 副管理者/産婦人科部長/ 総合診療産婦人科養成センター セン ター長
⑧乳房・ リンパ節	TK1CL090	乳房・甲状腺	窪田 忠夫 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 外科
	TK1CL100	皮膚とリンパ節	江原 瑞枝 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 皮膚科
⑨神経系	TK1CL110	神経系	三枝 邦康 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 脳神経外科 部長
3. 身体診察の年齢による変化				
⑩小児	TK1CL120	小児	小野 真 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 小児科 医長
⑪高齢者	TK1CL130	高齢者	玉井 杏奈 先生	台東区立台東病院 総合診療科
4. 状況に応じた身体診察				
⑫救急医療	TK1CL141	外傷初期診療 (JATEC)	舩越 拓 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 部長
⑬在宅医療	TK1CL150	在宅医療	松岡 史彦 先生	六ヶ所村地域家庭医療センター
参考書				
学研メディカルサポートの配布資料を参照				

研修会名 共通科目演習 1
方法 ライブ配信
日程 2026年 5月6日(水)～5月8日(金)
定員 80名
受講料(税込) 18,700円 (非会員 37,400円)

科目名	臨床病態生理学
科目担当講師	黒澤 昌洋 先生 (愛知医科大学看護学部)
日数	臨床推論とあわせて3日間
学習概要	臨床解剖学、臨床病理学、臨床生理学を学ぶ 1. 臨床解剖学 2. 臨床病理学 3. 臨床生理学
到達目標	演習実施要項に示した目標とする。
研修方法/ 評価方法	演習 (面接授業) : ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出、添削指導/ 観察評価
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

科目名	臨床推論
科目担当講師	佐藤 孝子 先生 (東海大学看護師キャリア支援センター)
日数	臨床病態生理学とあわせて3日間
学習概要	臨床診断学、臨床検査学、症候学、臨床疫学を学ぶ 1. 診療のプロセス 2. 臨床推論 (症候学を含む) の理論と演習 3. 医療面接の理論と演習 4. 各種臨床検査の理論と演習 心電図/血液検査/尿検査/病理検査/微生物学検査/生理機能検査/その他の検査 5. 画像検査の理論と演習 放射線の影響/単純エックス線検査/超音波検査/CT・MRI/その他の画像検査 6. 臨床疫学の理論と演習
到達目標	演習実施要項に示した目標とする。
研修方法/ 評価方法	演習 (面接授業) : ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出、添削指導/ 観察評価
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

臨床病態生理学

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
3. 臨床生理学				
【演習1】 ※①視聴後	TK1AE021	血液ガス分析 (症例検討)	片岡 惇 先生	練馬光が丘病院 総合救急診療科 集中治療部門 科長

臨床推論

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
2. 臨床推論（症候学を含む）の理論と演習				
【演習1】 ※①②視聴後	TK1BE010	頭痛	山田 徹 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科プログラムディレクター・消化器内科医長
	TK1BE020	胸痛	山田 徹 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科プログラムディレクター・消化器内科医長
	TK1BE030	腹痛	山田 徹 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科プログラムディレクター・消化器内科医長
	TK1BE040	吐下血	宮垣 亜紀 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 消化器内科
	TK1BE050	呼吸困難	吉野 かえで 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科
	TK1BE060	発熱	吉野 かえで 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科
	TK1BE070	体重減少	高崎 哲郎 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科
	TK1BE080	一過性意識障害	北村 浩一 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
	TK1BE090	腎機能障害	北村 浩一 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
3. 医療面接の理論と演習				
【演習2】 ※③視聴後	TK1BE101	医療面接	内藤 貴基 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
4. 各種臨床検査の理論と演習				
【演習3】 ※④視聴後	TK1BE111	心電図1	榎井 良裕 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター長/聖マリアンナ医科大学 救急医学 准教授
	TK1BE121	心電図2	榎井 良裕 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター長/聖マリアンナ医科大学 救急医学 准教授
	TK1BE131	心電図3	榎井 良裕 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター長/聖マリアンナ医科大学 救急医学 准教授
5. 画像検査の理論と演習				
【演習4】 ※⑩⑪視聴後	TK1BE140	咳・痰がある患者の画像診断	関 藍 先生	湘南藤沢徳洲会病院 救急センター
6. 臨床疫学の理論と演習				
【演習5】 ※⑭視聴後	TK1BE150	臨床疫学	遠藤 慶太 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科フェロー
参考書				
「共通科目1」研修会、「共通科目2」研修会と同じ				

研修会名	共通科目4
方法	オンデマンド配信
日程	2026年 5月18日(月)～5月22日(金)、5月25日(月)～5月30日(土)
定員	80名
受講料(税込)	36,300円 (非会員 72,600円)

科目名	臨床薬理学
科目担当講師	松尾 和廣 先生 (東邦大学薬学部)
日数	11日間
学習概要	薬剤学、薬理学を学ぶ 1. 薬物動態の理論 2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論 3. 主要薬物の相互作用の理論 4. 主要薬物の安全管理と処方の理論 ※年齢による特性 (小児/高齢者) を含む
到達目標	①多様な臨床場面において必要な治療を理解し、患者の安心に配慮しつつ、ケアや特定行為を安全に実践する能力を身につける ②主要な疾患別の治療薬および予防薬の作用機序、体内動態、薬理作用、副作用、相互作用、投与方法、投与後のモニタリングについての基本的な知識を身につける ③薬剤学・薬理学の基礎知識を深め、安全な管理と処方の理論を理解できる
研修方法/ 評価方法	講義 (放送授業) : e-ラーニングの受講/確認テスト
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
1. 薬物動態の理論				
①薬物動態	TK1DL011	薬物相互作用と薬物動態学の基礎知識	上塚 朋子 先生	福井県済生会病院 薬剤部
	TK1DL020	抗菌薬の投与期間	前田 幹広 先生	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 係長
2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論 3. 主要薬物の相互作用の理論				
②神経系	TK1DL031	慢性疾患のてんかんと急性期の急性症候性発作とてんかん重積状態	藤本 佳久 先生	TMGあさか医療センター 神経集中治療部
	TK1DL041	疼痛	坪谷 綾子 先生	川崎市立多摩病院 (指定管理者 聖マリアンナ医科大学) 薬剤部 主査
	TK1DL051	頭痛・片頭痛の臨床薬理学	坂本 華穂 先生	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部
	TK1DL061	鎮痛・鎮静・せん妄	前田 幹広 先生	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 課長補佐
	TK1DL071	悪心・嘔吐	坪谷 綾子 先生	川崎市立多摩病院 (指定管理者 聖マリアンナ医科大学) 薬剤部 主査
	TK1DL081	パーキンソン病	藤井 修一 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
	TK1DL091	脳卒中の急性期治療と慢性期2次予防	藤本 佳久 先生	TMGあさか医療センター 神経集中治療部

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
③循環器	TK1DL101	虚血性心疾患の薬物治療	村石 真起夫 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科
	TK1DL111	高血圧の薬物治療	前田 幹広 先生	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 主査
	TK1DL122	慢性心不全の薬物治療～左室駆出率の低下した心不全～	平岡 栄治 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 副センター長/内科系統括部長
	TK1DL131	不整脈の薬物治療～抗不整脈薬～	吉田 稔 先生 岩澤 孝昌 先生	横須賀市立うわまち病院 循環器内科 横須賀市立うわまち病院 循環器部長 兼 集中治療部部長
	TK1DL141	脂質異常症	土岐 真路 先生	聖マリアンナ医科大学病院 治験管理室 主任
	TK1DL151	抗凝固薬・抗血小板薬	土岐 真路 先生	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部臨床薬 剤課 主任
④呼吸器	TK1DL161	喘息・COPDの薬物治療	鈴木 俊一郎 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 薬剤室
	TK1DL171	肺炎の薬物治療	溝口 優 先生	城西国際大学 薬学部 医療薬学科 臨床薬学研究室 助教
⑤消化器	TK1DL181	便秘・下痢	坪谷 綾子 先生	川崎市立多摩病院（指定管理者 聖マリア ンナ医科大学） 薬剤部 主査
	TK1DL191	消化器薬（胃・十二指腸潰瘍、ピロリ菌 除菌）	佐々木 昭典 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 消化器内科/腫瘍内科
⑥内分泌・代謝	TK1DL201	糖尿病の薬物治療	伊藤 慎介 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
	TK1DL210	高血糖緊急症	伊藤 慎介 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
	TK1DL220	甲状腺治療薬	伊藤 慎介 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
⑦感染症	TK1DL231	抗菌薬治療の概論	中園 健一 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院 薬剤部/感染制御室 主査
	TK1DL241	敗血症	中島 拓郎 先生 津久田 純平 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学
⑧免疫	TK1DL251	抗リウマチ薬・抗アレルギー薬	鈴木 翔太郎 先生	聖マリアンナ医科大学病院 リウマチ・膠 原病・アレルギー内科
	TK1DL261	免疫抑制薬	片岡 裕子 先生	聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター
⑨悪性腫瘍	TK1DL430	抗がん剤1～抗がん剤の臨床薬理～	太田 哲徳 先生	独立行政法人 労働者健康安全機構 関東労災病院 薬剤部
	TK1DL440	抗がん剤2～副作用と対策～	太田 哲徳 先生	独立行政法人 労働者健康安全機構 関東労災病院 薬剤部
⑩血液	TK1DL280	血液製剤、輸血	森川 大樹 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
	TK1DL291	造血薬（ESA・G-CSF・TPO）	山田 悠史 先生	Brookdale Department of Geriatrics and Palliative Medicine Icahn School of Medicine at Mount Sinai
⑪感覚器	TK1DL300	皮膚疾患 ステロイド外用剤	横溝 綾子 先生	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部
⑫整形外科	TK1DL311	骨粗鬆症	宮内 隆政 先生	第二服部病院 院長
⑬精神系	TK1DL321	不眠症・せん妄	榊田 浩司 先生	国際医療福祉大学成田病院 薬剤部
	TK1DL331	向精神薬	松井 健太郎 先生	国立精神・神経医療研究センター病院 臨 床検査部 睡眠障害検査室 医長
⑭その他	TK1DL340	電解質・輸液	上塚 朋子 先生	福井県済生会病院 薬剤部
	TK1DL350	栄養療法	内藤 貴基 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
	TK1DL360	痛風・高尿酸血症	本橋 健史 先生 濱田 治 先生	練馬光が丘病院 総合診療科 練馬光が丘病院 総合診療科
	TK1DL370	漢方	入江 康仁 先生	聖隷横浜病院 救急科/キズ・やけど外来 医長

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
4. 主要薬物の安全管理と処方の理論				
⑤安全管理・ 処方	TK1DL380	小児における薬物療法の注意点とワクチン	宮原 由香里 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 医療技術部 薬剤室 主任
	TK1DL390	特別に考慮の必要な患者群（妊婦・授乳婦・高齢者）	横溝 綾子 先生	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 主任
	TK1DL400	肝・腎障害患者へ投与する際の注意点	栢 秀樹 先生 鈴木 俊一郎 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 薬剤室 主任 東京ベイ・浦安市川医療センター 薬剤室
	TK1DL410	処方の基礎・法的问题・麻薬・向精神薬の取り扱い	前田 幹広 先生	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 係長
	TK1DL420	医薬品副作用被害救済制度	金森 大祐 先生 太田 哲徳 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 薬剤室 東京ベイ・浦安市川医療センター 薬剤室 主任

参考書

学研メディカルサポートの配布資料を参照

研修会名 共通科目5

方法 オンデマンド配信

日程 2026年 6月2日(火)～6月4日(木)、6月9日(火)～6月11日(木)、6月16日(火)～6月20日(土)

定員 80名

受講料(税込) 40,700円 (非会員 81,400円)

科目名	疾病・臨床病態概論
科目担当講師	黒澤 昌洋 先生 (愛知医科大学看護学部)
日数	11日間
学習概要	<p>主要疾患と臨床診断・治療を学ぶ</p> <p>主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論</p> <p>循環器系/呼吸器系/消化器系/腎泌尿器系/内分泌・代謝系/免疫・膠原病系/ 血液・リンパ系/神経系/小児科/産婦人科/精神系/運動器系/感覚器系/感染症/その他</p> <p>状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ</p> <p>1. 救急医療の臨床診断・治療の特性</p> <p>2. 在宅医療の臨床診断・治療の特性</p>
到達目標	<p>①主要疾患の病態生理、臨床像、診断、治療を理解する</p> <p>②年齢（小児、高齢者など）や状況（救急医療、在宅医療など）に応じた臨床診断・治療の特性を理解する</p> <p>③多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントし、必要な治療を理解してケアを導くための基本的な能力を身につける</p>
研修方法/ 評価方法	講義（放送授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
主要疾患と臨床診断・治療を学ぶ				
主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論				
①循環器系	TK1EL031	虚血性心疾患	村石 真起夫 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科
	TK1EL070	心臓弁膜症～大動脈弁狭窄症・僧帽弁逆流症～	柴山 謙太郎 先生	東京心臓血管・内科クリニック
	TK1EL080	不整脈	奥村 弘史 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科副部長/現井手ハートクリニック
	TK1EL091	高血圧	内田 一好 先生	浦安やなぎ通り診療所 院長/ 東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓内分泌糖尿病内科
	TK1EL101	急性心不全	金光 陽子 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学
②呼吸器系	TK1EL121	気管支喘息・COPD	平間 千絵 先生	川崎市立多摩病院 救急災害医療センター
	TK1EL131	肺炎	阿部 浩幸 先生 吉田 英樹 先生	聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 救命救急センター 医長
	TK1EL145	酸素療法、人工呼吸療法、人工気道	高田 順子 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター リハビリテーション室/呼吸療法チーム
	TK1EL160	肺がん、胸膜・縦隔疾患	横山 裕 先生	葛西よこやま内科・呼吸器内科クリニック 院長
	TK1EL170	気胸	吉田 英樹 先生 北野 夕佳 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター 副センター長

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
③消化器系	TK1EL200	イレウス	福田 俊輔 先生 北野 夕佳 先生	奈良県総合医療センター 集中治療部 聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院 救命救急センター
	TK1EL210	黄疸	宮垣 亜紀 先生	公立豊岡病院組合立豊岡病院 消化器科
	TK1EL220	吐血・嘔吐	佐々木 昭典 先生	国立研究開発法人 国立がん研究センター 東病 院
	TK1EL231	肝疾患	岩田 朋之 先生	東京北医療センター 消化器内科
	TK1EL250	肝性脳症・肝性昏睡	森川 大樹 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学集中治療部 助 教
	TK1EL261	急性膵炎	宮崎 岳大 先生	山内診療所
④腎・泌尿器系	TK1EL280	急性腎障害 (AKI)	宮内 隆政 先生	第二服部医院 院長/聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科
	TK1EL291	慢性腎臓病 (CKD)	宮内 隆政 先生	第二服部病院 院長
⑤内分泌・ 代謝系	TK1EL041	糖尿病	伊藤 慎介 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
	TK1EL320	カリウム異常	山本 信 先生 野村 悠 先生	聖マリアンナ医科大学病院 腎臓高血圧内科 川崎市立多摩病院 救急災害医療センター 医長
	TK1EL330	低Na血症、高Na血症	吉田 英樹 先生 北野 夕佳 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急 センター
	TK1EL340	高カルシウム血症のアプローチ	堤 健 先生 北野 夕佳 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院 救命救急センター 助教 聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院 救命救急センター
	TK1EL346	下垂体-甲状腺-副腎	伊藤 慎介 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
⑥免疫・ 膠原病系	TK1EL350	関節痛	片岡 裕子 先生	聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター
	TK1EL355	関節リウマチ	岩波 慶一 先生	練馬光が丘病院 膠原病・リウマチ内科
⑦血液・ リンパ系	TK1EL360	貧血の初期評価	益子 茂人 先生	JCHO仙台病院 腎疾患臨床研究センター
	TK1EL365	悪性リンパ腫、急性白血病	山田 悠史 先生	Mount Sinai Beth Israel, Department of Medicine
⑧神経系	TK1EL021	脳梗塞	有好 信博 先生	The Queen's Medical Center in Hawaii Hospitalist
	TK1EL025	脳出血 (脳内出血、くも膜下出血、 硬膜下出血)	藤井 修一 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
⑨小児科	TK1EL381	小児一般疾患概論	福島 正大 先生	Sunnyキッズクリニック戸塚安行院
⑩産婦人科	TK1EL390	産科疾患	鈴木 大輔 先生	福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支 援センター 特任講師
	TK1EL570	婦人科疾患	鈴木 大輔 先生	福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支 援センター 特任講師

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
⑩精神系	TK1EL061	認知症	藤井 修一 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
	TK1EL065	気分障害（うつ病、双極性障害）	松井 健太郎 先生	東京女子医科大学 医学部 精神医学講座 助教
	TK1EL400	せん妄	榎田 志保 先生 北野 夕佳 先生	徳島大学 血液・内分泌代謝内科 聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院 救命救急センター
	TK1EL405	統合失調症	松井 健太郎 先生	国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査 部睡眠障害検査室 医長
⑪運動器系	TK1EL410	運動器疾患～足・膝靭帯損傷、肩関節 脱臼、変形性関節症、坐骨神経痛、骨 粗鬆症に伴う圧迫骨折、大腿骨頸部骨 折～	藤谷 茂樹 先生 富澤 将司 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 東京ベイ・浦安市川医療センター 整形外科 部長
	TK1EL420	腰痛	小林 哲士 先生	サンライズ酒井病院 整形外科
⑫感覚器系	TK1EL450	耳鼻科外傷	三反田 拓志 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科
	TK1EL460	眼科疾患1～眼の解剖と前眼部疾患～	三重野 洋喜 先生	京都府立医科大学 眼科学教室
	TK1EL461	眼科疾患2～後眼部疾患～	徳毛 花菜 先生	広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 視覚病態 学
⑬感染症	TK1EL480	胆管炎・腹腔内感染症	堤 健 先生 北野 夕佳 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター 助教 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター
⑭その他	TK1EL010	悪性腫瘍総論	江原 淳 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科・呼吸器内科
	TK1EL370	頭痛	木村 信彦 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科
状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ				
1. 救急医療の臨床診断・治療の特性				
⑯救急医療	TK1EL520	頭部外傷	尾崎 将之 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教 大学病院救命救急センター 医長
	TK1EL530	頸部外傷	内御堂 亮 先生	Beth Israel Deaconess Medical Center, Department of Emergency Medicine
	TK1EL540	胸部外傷	岡野 恵 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科
	TK1EL580	Refeeding症候群	森 みさ子 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院 周産期センター母性病棟、 看護師長/NST専任看護師
	TK1EL600	中毒	石上 雄一郎 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急部
	TK1EL611	薬物中毒	高橋 仁 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 医長・準プログラムディレクター
	TK1EL621	偶発性低体温症	内藤 貴基 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教
	TK1EL630	熱中症	尾崎 将之 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教 大学病院救命救急センター 医長
	TK1EL640	熱傷	高瀬 税 先生	横須賀市立うわまち病院 形成外科 部長
2. 在宅医療の臨床診断・治療の特性				
⑰在宅医療	TK1EL650	看取り	船越 樹 先生	六ヶ所村地域家庭医療センター
	TK1EL661	褥瘡管理	船越 樹 先生	六ヶ所村地域家庭医療センター
参考書				
学研メディカルサポートの配布資料を参照				

研修会名 共通科目演習 2

方法 集合（東京研修会場）

日程 ①2026年6月5日(金)13時～6月6日(土)16時、②2026年6月7日(日)9時～6月8日(月)12時

定員 ①40名 ②40名

受講料(税込) 9,900円（非会員 19,800円）

科目名	フィジカルアセスメント
科目担当講師	本田 明 先生（医療法人社団悠翔会）
日数	2日間
学習概要	<p>身体診察・診断学（演習含む）を学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体診察基本手技の理論と演習 2. 部位別身体診察手技と所見の理論と演習 全身状態とバイタルサイン/頭頸部/胸部/腹部/四肢・脊柱/泌尿・生殖器/乳房・リンパ節/神経系 3. 身体診察の年齢による変化 小児/高齢者 4. 状況に応じた身体診察 救急医療/在宅医療
到達目標	演習実施要項に示した目標とする。
研修方法/ 評価方法	<p>演習（面接授業）：ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出、添削指導/ 観察評価</p> <p>動画付演習（放送授業・面接授業）： 【演習】手本となる身体診察動画を視聴後、その身体診察に関連するペーパーシミュレーションによる ディスカッション・レポート提出/観察評価</p>
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

フィジカルアセスメント

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
1. 身体診察基本手技の理論と演習				
【演習1】 ※①視聴後	TK1CE001	身体診察基本手技	藤原 直樹 先生	練馬光が丘病院 総合診療科 部長
2. 部位別身体診察手技と所見の理論と演習				
【動画付演習】 ※②～⑨視聴後	TK1CE022	頸静脈、末梢動脈の診察（動画：約20分）	山中 克郎 先生	諏訪中央病院 院長補佐
	TK1CE072	高位脊髄損傷の診察（動画：約8分）	藤井 達也 先生	医療法人社団 翠明会 山王病院 整形外科
	TK1CE081	膝、肩の診察（動画：約26分）	小林 裕幸 先生	筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター、茨城県厚生連総合病院 水戸協同病院 総合診療科 教授
	TK1CE102	腎・泌尿器の診察（動画：約5分）	筒泉 貴彦 先生	愛仁会 高槻病院 総合内科 主任部長
	TK1CE122	神経系の診察（動画：約16分）	塩尻 俊明 先生	地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 総合診療内科
	TK1CE131	認知症疑いの診察（動画：約14分）	片岡 仁美 先生	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 教授
	TK1CE141	第一印象の把握（動画：約11分）	吉野 俊平 先生	飯塚病院 総合診療科

参考書

「共通科目3」研修会と同じ

研修会名 共通科目演習3
方法 ライブ配信
日程 2026年 6月13日(土)～6月14日(日)
定員 80名
受講料(税込) 13,200円 (非会員 26,400円)

科目名	臨床薬理学
科目担当講師	松尾 和廣 先生 (東邦大学薬学部)
日数	2日間
学習概要	薬剤学、薬理学を学ぶ 1. 薬物動態の理論と演習 2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3. 主要薬物の相互作用の理論と演習 4. 主要薬物の安全管理と処方の理論と演習 ※年齢による特性 (小児/高齢者) を含む
到達目標	演習実施要項に示した目標とする。
研修方法/ 評価方法	演習 (面接授業) : ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出、添削指導/ 観察評価
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
1. 薬物動態の理論と演習				
【演習1】 ※①視聴後	TK1DE011	薬物動態・薬物相互作用	上塚 朋子 先生	福井県済生会病院 薬剤部
2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3. 主要薬物の相互作用の理論と演習				
【演習2】 ※②視聴後	TK1DE021	脳梗塞	藤本 佳久 先生	TMGあさか医療センター 神経集中治療部
【演習3】 ※③視聴後	TK1DE031	高血圧	前田 幹広 先生	聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 主査
	TK1DE041	心不全	平岡 栄治 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科 部長
	TK1DE051	高齢者の慢性疾患	宮内 隆政 先生	第二服部病院 院長
【演習4】 ※④視聴後	TK1DE061	気管支喘息	平間 千絵 先生	川崎市立多摩病院 救急災害医療センター
	TK1DE071	肺炎	溝口 優 先生	城西国際大学 薬学部 医療薬学科 臨床薬学研究室 助教
【演習5】 ※⑥視聴後	TK1DE081	1型糖尿病の薬物治療	北村 浩一 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
	TK1DE091	2型糖尿病の薬物治療	北村 浩一 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科
【演習6】 ※⑦視聴後	TK1DE101	感染症	中園 健一 先生	聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院 薬剤部/感染制御室 主査
【演習7】 ※⑩視聴後	TK1DE111	不眠症	榎田 浩司 先生	国際医療福祉大学成田病院 薬剤部
4. 主要薬物の安全管理と処方の理論と演習				
【演習8】 ※⑮視聴後	TK1DE121	妊婦に対する薬物療法	鈴木 俊一郎 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 薬剤室
参考書				
「共通科目4」研修会と同じ				

研修会名	共通科目 6
方法	オンデマンド配信
日程	2026年 6月23日(火)～6月26日(金)、6月29日(月)～7月1日(水)
定員	80名
受講料(税込)	27,500円 (非会員 55,000円)

科目名	医療安全学/特定行為実践
科目担当講師	内田 宏貴 先生 (公益財団法人慈愛会谷山病院)
日数	7日間
学習概要	<p>特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特定行為実践に関連する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証 (Quality Care Assurance) を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①医療倫理 ②医療管理 ③医療安全 ④ケアの質保証 2. 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践 (Inter Professional Work (IPW)) を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①チーム医療の理論 ②チーム医療の事例検討 ③コンサルテーションの方法 ④多職種協働の課題 3. 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①特定行為関連法規 ②特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論 4. 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①手順書の位置づけ
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①医療安全の原理・原則を理解し、多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践するための能力を身につける ②医療安全に関わる法、倫理、制度、システムを理解する ③患者および医療従事者にとって安全な医療の遂行に向けて、多職種と効果的に協働する能力を身につける ④医療事故事例を分析し、医療事故防止および事故後の対処ができる ⑤問題解決に向けて多職種と効果的に協働する知識と実践能力を身につける ⑥医療者、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる ⑦多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践するためのアセスメント、仮説検証、意思決定の知識と実践能力を身につける ⑧根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直す知識と実践能力を身につける ⑨自らの看護実践を見直しつつ、標準化する能力を身につける
研修方法/ 評価方法	講義 (放送授業) : e-ラーニングの受講/確認テスト
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
1. 特定行為実践に関連する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ				
①医療倫理	TK1FL010	医療安全を学ぶにあたり 安全の概念と技術にふれて	杉山 良子 先生	日本医療の質・安全学会理事、医療安全全国共同行動企画委員 / (元) 武蔵野赤十字病院専従医療安全管理者
	TK1FL060	医療安全と医療倫理～立ち止まる倫理のススメ～	金城 隆展 先生	琉球大学医学部附属病院 地域医療部
	TK1FL070	臨床倫理	金城 隆展 先生	琉球大学医学部附属病院 地域医療部
②医療管理	TK1FL020	医療安全の考え方と対応	小松原 明哲 先生	早稲田大学理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科 / 人間生活工学研究室 教授
	TK1FL030	安全管理と理論	小松原 明哲 先生	早稲田大学理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科 / 人間生活工学研究室 教授
	TK1FL040	現場におけるエラーや事故の要因と対策	小松原 明哲 先生	早稲田大学理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科 / 人間生活工学研究室 教授
	TK1FL050	医薬品・医療機器を扱うための安全管理	小松原 明哲 先生	早稲田大学理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科 / 人間生活工学研究室 教授
③医療安全	TK1FL080	医療安全に関する法律（制度）	伊東 亜矢子 先生	三宅坂総合法律事務所/弁護士
	TK1FL095	医療事故への対応～医療事故調査制度を学ぶ～	伊東 亜矢子 先生	三宅坂総合法律事務所/弁護士
	TK1FL105	プロセスを意識した医療安全の考え方	永井 庸次 先生	ひたちなか総合病院 前院長
	TK1FL111	事例要因分析	河野 龍太郎 先生	自治医科大学 名誉教授/株式会社安全推進研究所 代表取締役所長
	TK1FL120	危険予測と発生防止	杉山 良子 先生	日本医療の質・安全学会理事、医療安全全国共同行動企画委員 / (元) 武蔵野赤十字病院専従医療安全管理者
④ケアの質保証	TK1FL130	医療の質改善について	長尾 能雅 先生	名古屋大学医学部附属病院 副院長 医療の質・安全管理部 教授
	TK1FL141	医療安全体制の構築～患者安全活動の全体像～	長尾 能雅 先生	名古屋大学医学部附属病院 副院長/患者安全推進部 教授
2. 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work (IPW)）を学ぶ				
⑤チーム医療	TK1GL010	チーム医療の理論と事例検討	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOCOM-NDC 研修センター 診療看護師
	TK1GL020	チーム医療に必要な医療者同士のコミュニケーション	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOCOM-NDC 研修センター 診療看護師
⑥コンサルテーション	TK1GL031	コンサルテーションの方法～専門外の科への依頼書作成、依頼の方法、判断～	辻 一成 先生	市立大村市民病院 診療部 特定ケア看護師/クリティカルケア認定看護師
⑦多職種協働	TK1GL040	多職種協働の課題	勘澤 晴美 先生	東京バイ・浦安市川医療センター

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
3. 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ				
⑧関連法規	TK1GL051	「特定行為に係る看護師」の関連法規 ～修了者としての働きをみすえて～	村田 誠幸 先生 鈴木 靖子 先生	公益社団法人 茨城県看護協会 研修部 統括次長 公益社団法人 地域医療振興協会 NP・NDC研修センター 次長
⑨意思決定支援	TK1GL060	インフォームド・コンセントの理論	加藤 恵美 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 診療看護師
	TK1GL070	覚えておきたいインフォームド・コンセント のテクニック	加藤 恵美 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 診療看護師
	TK1GL120	アセスメント、仮説検証、意思決定の理論	筑井 菜々子 先生 重富 杏子 先生	地域医療振興協会JADECOR-NDC 研修センター 診療看護師 東京ベイ・浦安市川医療センター 心臓血管外科 診療看護師
	TK1GL130	クリティカルシンキング	井出 恵伊子 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター
	TK1GL140	特定行為に係る看護師の倫理	井出 恵伊子 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター
	TK1GL145	意思決定支援	高橋 美帆 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 老人看護専門看護師/意思決定支援 チーム
4. 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ				
⑩手順書	TK1GL091	手順書の位置づけ	島田 由美子 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 診療看護師
まとめ				
⑪まとめ	TK1GL150	共通科目の学びを活かした特定行為実践に向 けて	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会 JADECORアカデ ミー NP・NDC研修センター 診療看護師

参考書

学研メディカルサポートの配布資料を参照

研修会名 **共通科目演習 4**
方法 ライブ配信
日程 2026年 7月9日(木)～7月11日(土)
定員 80名
受講料(税込) 18,700円 (非会員 37,400円)

科目名	疾病・臨床病態概論
科目担当講師	黒澤 昌洋 先生 (愛知医科大学看護学部)
日数	医療安全学/特定行為実践とあわせて3日間
学習概要	主要疾患と臨床診断・治療を学ぶ 状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ 1. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 2. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習
到達目標	演習実施要項に示した目標とする。
研修方法/ 評価方法	演習 (面接授業) : ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出、添削指導/ 観察評価
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

科目名	医療安全学/特定行為実践
科目担当講師	内田 宏貴 先生（公益財団法人慈愛会谷山病院）
日数	疾病・臨床病態概論とあわせて3日間
学習概要	<p>特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特定行為実践に関連する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①医療倫理 ②医療管理 ③医療安全 ④ケアの質保証 2. 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①チーム医療の理論と演習 ②チーム医療の事例検討 ③コンサルテーションの方法 ④多職種協働の課題 3. 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①特定行為関連法規 ②特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習 4. 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①手順書の位置づけ ②手順書の作成演習 ③手順書の評価と改良
到達目標	演習実施要項に示した目標とする。
研修方法/ 評価方法	演習（面接授業）：ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出、添削指導/ 観察評価
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

疾病・臨床病態概論

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ				
1. 救急医療の臨床診断・治療の特性と演習				
【演習1】 ※⑯視聴後	TK1EE081	熱中症	仲野 海渡 先生	聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター
			津久田 純平 先生	聖マリアンナ医科大学病院 救急救命センター
2. 在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習				
【演習2】 ※⑰視聴後	TK1EE091	看取り	船越 樹 先生	六ヶ所村地域家庭医療センター
	TK1EE101	褥瘡管理	船越 樹 先生	六ヶ所村地域家庭医療センター

医療安全学/特定行為実践

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
1. 特定行為実践に関連する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ				
【演習1】 ※①視聴後	TK1FE025	臨床倫理	金城 隆展 先生	琉球大学医学部附属病院 地域医療部
【演習2】 ※②視聴後	TK1FE011	現場におけるエラーや事故の要因と対策	小松原 明哲 先生	早稲田大学理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科 人間生活工学研究室 教授
【演習3】 ※③視聴後	TK1FE035	医療事故発生時とその後の対応	伊東 亜矢子 先生	三宅坂総合法律事務所/弁護士
2. 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践 （Inter Professional Work (IPW)）（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ				
【演習5】 ※⑤視聴後	TK1GE011	チーム医療～終末期患者の退院支援～	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOR-NDC 研修センター 診療看護師
【演習6】 ※⑥視聴後	TK1GE041	コンサルテーション ～症例①せん妄～	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOR-NDC 研修センター 診療看護師
【演習7】 ※⑤⑦視聴後	TK1GE020	チーム医療（他職種との協働）の事例検討	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOR-NDC 研修センター 診療看護師
3. 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ				
【演習8】 ※⑨視聴後	TK1GE090	インフォームド・コンセント ～未梢留置型中心静脈カテーテル（PICC） 留置～	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOR-NDC 研修センター 診療看護師
	TK1GE160	意思決定支援	高橋 美帆 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 老人看護専門看護師/意思決定支援 チーム
4. 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、 見直すプロセスについて学ぶ				
【演習9】 ※⑩視聴後	TK1GE121	手順書の作成	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOR-NDC 研修センター 診療看護師
	TK1GE131	手順書の評価	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOR-NDC 研修センター 診療看護師
	TK1GE141	手順書の改良	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOR-NDC 研修センター 診療看護師

参考書

「共通科目5」研修会、「共通科目6」研修会と同じ

研修会名 共通科目実習**方法** 集合（東京研修会場）**日程** ①2026年7月15日(水)～7月20日(月)、②2026年7月22日(水)～7月27日(月)**定員** ①40名 ②40名**受講料(税込)** 171,600円（非会員 343,200円）

科目名	臨床推論
科目担当講師	佐藤 孝子 先生（東海大学看護師キャリア支援センター）
日数	フィジカルアセスメント、医療安全学/特定行為実践とあわせて6日間
学習概要	臨床診断学、臨床検査学、症候学、臨床疫学を学ぶ 医療面接の理論と実習
到達目標	実習要項に示した目標とする。
研修方法/ 評価方法	実習（面接授業）：ロールプレイ/チェックリストを用いた観察評価
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

科目名	フィジカルアセスメント
科目担当講師	本田 明 先生（医療法人社団悠翔会）
日数	臨床推論、医療安全学/特定行為実践とあわせて6日間
学習概要	身体診察・診断学を学ぶ 1. 身体診察基本手技の理論と実習 2. 部位別身体診察手技と所見の理論と実習 全身状態とバイタルサイン/頭頸部/胸部/腹部/四肢・脊柱/泌尿・生殖器/乳房・リンパ節/神経系 3. 身体診察の年齢による変化 小児/高齢者 4. 状況に応じた身体診察 救急医療/在宅医療
到達目標	実習要項に示した目標とする。
研修方法/ 評価方法	実習（面接授業）：ロールプレイ/チェックリストを用いた観察評価 動画付実習（放送授業・面接授業）： 【実習】手本となる身体診察動画を視聴後、その身体診察のロールプレイ/診察ポイントをまとめたチェックリストを用いた観察評価
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

科目名	医療安全学/特定行為実践
科目担当講師	内田 宏貴 先生（公益財団法人慈愛会谷山病院）
日数	臨床推論、フィジカルアセスメントとあわせて6日間
学習概要	<p>特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特定行為実践に関連する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①医療倫理 ②医療管理 ③医療安全 ④ケアの質保証 2. 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①チーム医療の理論 ②チーム医療の事例検討 ③コンサルテーションの方法 ④多職種協働の課題 3. 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①特定行為関連法規 ②特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論 4. 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ <ol style="list-style-type: none"> ①手順書の位置づけ ②手順書の作成 ③手順書の評価と改良
到達目標	実習要項に示した目標とする。
研修方法/ 評価方法	実習（面接授業）：レポート提出/チェックリストを用いた観察評価
備考	※講師欄の記載は、学研メディカルサポートの教材作成者名です

臨床推論

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
3. 医療面接の理論と実習				
【実習1】 ※③視聴後	TK1BP011	医療面接	内藤 貴基 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
1. 身体診察基本手技の理論と実習				
【実習1】 ※①視聴後	TK1CP001	身体診察基本手技	藤原 直樹 先生	練馬光が丘病院 総合診療科 部長
2. 部位別身体診察手技と所見の理論と実習				
【動画付実習】 ※②～⑨視聴後	TK1CP010	フィジカルアセスメント総論（動画：約12分）	北野 夕佳 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教/聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター
	TK1CP031	頭頸部の診察（動画：約21分）	中野 弘康 先生	川崎市立多摩病院 消化器・肝臓内科 医長
	TK1CP041	呼吸の診察（動画：約20分）	則末 泰博 先生	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科部長/呼吸器内科部長
	TK1CP051	心音の診察（動画：約15分）	鈴木 智晴 先生	筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター、茨城県厚生連総合病院 水戸協同病院 総合診療科
	TK1CP061	腹部の診察（動画：約34分）	川島 篤志 先生	市立福知山市民病院 研究研修センター長 総合内科医長
	TK1CP081	膝、肩の診察（動画：約26分）	小林 裕幸 先生	筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター、茨城県厚生連総合病院 水戸協同病院 総合診療科 教授
	TK1CP091	手の診察（動画：約15分）	須藤 博 先生	社会医療法人財団互恵会 大船中央病院 院長
	TK1CP101	腎・泌尿器の診察（動画：約5分）	筒泉 貴彦 先生	愛仁会 高槻病院 総合内科 主任部長
	TK1CP111	リンパ節・皮膚の診察（動画：リンパ節：約18分、皮膚：約19分）	平島 修 先生	医療法人徳洲会 奄美ブロック 総合診療研修センター センター長
	TK1CP121	神経系の診察（動画：約16分）	塩尻 俊明 先生	地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 総合診療内科
	TK1CP131	認知症疑いの診察（動画：約14分）	片岡 仁美 先生	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 教授
	TK1CP141	第一印象の把握（動画：約11分）	吉野 俊平 先生	飯塚病院 総合診療科
TK1CP160	通しの全身診察の型（動画：約32分）	北野 夕佳 先生	聖マリアンナ医科大学 救急医学 助教/聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター	

医療安全学/特定行為実践

学習内容	テーマコード	タイトル	講師	所属
4. まとめ				
【実習1】 ※すべて受講後	TK1FP030	医療安全に関する実習	原田 賢治 先生	国立大学法人 東京農工大学 保健管理センター
	TK1GP050	医療安全学/特定行為実践 総合実習	筑井 菜々子 先生 吉田 奈津美 先生	地域医療振興協会JADECOM-NDC 研修センター 診療看護師 市立奈良病院 看護部 主任看護師/ 特定ケア看護師
	TK1GP061	特定行為研修の振り返りとこれからの実践	筑井 菜々子 先生	地域医療振興協会JADECOM-NDC 研修センター 診療看護師

参考書

「共通科目2」研修会、「共通科目3」研修会、「共通科目6」研修会と同じ

認定科目

研修会名 認定科目 1

方法 集合（東京研修会場）

日程 2026年8月8日(土)～8月12日(水)

定員 80名

受講料(税込) 35,200円（非会員 70,400円）

科目名	精神科看護学
科目担当講師	西池 絵衣子 先生（兵庫県立大学看護学部）
日数	1日間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○精神科看護に対する自分の考えを述べるができる。 ○精神科看護実践を支える理論やモデルについて説明できる。 ○看護過程の展開において、精神科看護における看護記録の重要性について説明できる。 ○看護過程においてセルフケア看護モデルを応用することができる。
学習方法	講義、演習
評価方法	認定科目5で参照

科目名	精神科看護における看護倫理
科目担当講師	草地 仁史 先生（一般社団法人日本精神科看護協会）
日数	2日間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の尊厳と権利擁護を促進する意義を説明できる。 ○倫理的看護実践に必要な基礎知識を修得できる。 ○精神科看護領域で起こりやすい倫理的課題と、その課題への取り組みについて議論できる。 ○倫理カンファレンスに参加する体験を通して、自身の課題を整理できる。
学習方法	講義、グループワークによる倫理カンファレンス
評価方法	筆記試験

科目名	意思決定支援
科目担当講師	福田 晶子 先生（桑名医師会立桑名看護専門学校）
日数	2日間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○インフォームドコンセントと自己決定の基本を説明できる。 ○精神科医療における意思決定支援の考え方と方法を説明できる。 ○事例をとおして対象者に応じた意思決定支援の方法を議論し記述できる。
学習方法	講義、演習
評価方法	課題レポート

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
1. 精神科看護学			
精神科看護学 1			
D01	精神科看護とは	精神科看護の定義 精神科看護の対象者	精神科看護の対象、個人の尊厳と権利擁護、自律性の回復、その人らしい生活
精神科看護学 2			
D02	精神科看護における看護過程	看護過程の展開における留意点 精神科看護における記録の重要性 精神科看護実践を支える理論やモデル	精神科アセスメント、計画立案、実施、評価 看護記録の内容と方法 セルフケアモデル、リカバリー論、エンパワメント ストレングスモデル、 バイオ・サイコ・ソーシャル(BPS)モデル
精神科看護学 3			
D03	精神科看護における看護過程の展開	セルフケア看護モデルを活用した看護過程の実際	データベース、セルフケアレベル、アセスメント、長期目標、短期目標

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
2. 精神科看護における看護倫理			
精神科看護における看護倫理 1			
E01	人権擁護と法制度	虐待防止法 (高齢者・児童・障がい者)	身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、 ネグレクト、経済的虐待
		障害者差別解消法	差別的取り扱い、合理的配慮、 差別解消支援措置
	精神科病院における 障がい者虐待防止	精神保健福祉法上の障がい者虐待 防止	個人の尊厳と権利擁護、虐待防止措置、 通報義務
		精神科病院の組織的対策	虐待防止委員会、相談機能、行政への協力体制
精神科看護における看護倫理 2			
E02	倫理的に考えるための 基礎知識	倫理についての基礎知識	倫理とは、職業倫理、臨床倫理、研究倫理
		倫理を理解するための基本用語	アドボケイト、パターナリズム、 トラウマ・インフォームド・ケア、 マルトリートメント・プライバシーと守秘義務
		精神科看護職の倫理綱領	専門性と価値観、自覚と責務、12の倫理指針
	精神科看護師の倫理的 活動	倫理観を養うための技術演習	事例検討
精神科看護における看護倫理 3			
E03	精神科看護実践と倫理	精神科看護領域でおこりやすい 倫理事例	拒薬と不告知投薬、非自発的入院、 療養環境と倫理 接遇と倫理、行動制限と倫理
		倫理的意思決定	4ステップモデル、倫理問題の明確化 倫理的行動の選択肢、行動の最終判断
		倫理的取り組みの実際	倫理カンファレンス
精神科看護における看護倫理 4			
E04	倫理カンファレンスの 実践体験	模擬事例を用いて倫理カンファレン スの方法と実際を体験する	倫理カンファレンス

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
3. 意思決定支援			
意思決定支援1			
F01	意思決定支援の理解に必要な考え方	治療を受ける患者を支援する姿勢	インフォームドコンセント、コンプライアンス アドヒアランス、コンコーダンス 服薬における患者の権利、ストレングス オープンダイアログ、ユマニチュード
		インフォームドコンセントと自己決定	信頼関係、説明と同意、 精神症状のアセスメント 認知能力、伝える工夫、実行のサポート
意思決定支援2			
F02	精神科医療における意思決定支援	共同意思決定（SDM：Shared Decision Making）の概念と実践	共同意思決定、 Shared Decision Making（SDM）を実践するための9つのステップ
		アドバンス・ケア・プランニング（ACP：Advance Care Planning）の概念と実践	アドバンス・ケア・プランニング、 人生会議 リビング・ウィル、事前指示書
		服薬支援、自己管理の実際	頓服使用のあり方、心理教育、 地域生活、行動変容 自覚的薬物体験
意思決定支援3			
F03	対象者に応じた意思決定支援の実践1	※5つのテーマから1つを選び、ディスカッションを行う。	5つのテーマ ・「非自発入院時の支援」 ・「生命にかかわる身体的治療を受ける患者への支援」 ・「長期入院患者の入院形態の変更や継続に関する意思決定への支援」（※統合失調症で入院したものの、長期となり認知症を発症し、任意入院の自己同意について） ・「在宅での社会資源活用の意思決定の支援」 ・「病気への理解が乏しい本人・家族への治療の方向性についての自己決定支援」
意思決定支援4			
F04	対象者に応じた意思決定支援の実践2	※ディスカッションの内容を発表	同上
参考書			
みてわかるできる 事例で学ぶ看護過程 精神看護学（Gakken） 新版 精神看護学（中央法規） 事例とワークで深める 精神科看護倫理実践テキスト（中央法規） その他、講義で提示予定			

研修会名 認定科目 2
方法 オンデマンド配信
日程 2026年8月17日(月)～8月20日(木)
定員 80名
受講料(税込) 14,300円 (非会員 28,600円)

科目名	ライフサイクルとメンタルヘルス
科目担当講師	岡本 典子 先生 (国際医療福祉大学小田原保健医療学部)
日数	4日間
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○各ライフサイクルにおけるメンタルヘルス、心の健康問題と支援について説明できる。 ○周産期のメンタルヘルスについて説明できる。 ○精神障害をもつ人の活動について説明できる。 ○犯罪被害者への支援について説明できる。 ○災害支援とメンタルヘルスについて説明できる。
学習方法	講義：e-ラーニングの受講
評価方法	筆記試験

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
1. ライフサイクルとメンタルヘルス			
ライフサイクルとメンタルヘルス 1			
A01	ライフサイクルとこころの健康	個人と家族と社会のとらえ方	家族構造の変遷、現代における家族の発達課題、ライフサイクルと家族、現代の家族の抱える問題、虐待、家庭内暴力、ドメスティックバイオレンス(DV)、依存症と家族
		こころの発達過程	
		ストレスへの対処と適応	
ライフサイクルとメンタルヘルス 2			
A02	児童・思春期におけるこころの健康問題と支援	児童虐待への取り組みの実際	児童虐待防止法、児童相談所、児童福祉法 身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待
		地域における児童・思春期を支援する仕組み	児童虐待防止法（通告）、児童相談所
		児童期のうつ病	早期発見、不登校
		学校保健における取り組み	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
		医療機関における児童・思春期を支援する仕組み	専門医療機関、学校・児童相談所との連携
児童・思春期における家族支援	いじめ、引きこもり、自閉症、発達障害、家族教室		
ライフサイクルとメンタルヘルス 3			
A03	成人期におけるこころの健康問題と支援	こころの健康問題がもたらす影響	ストレス、不眠、うつ病、自殺予防対策
		うつ病患者の自殺の危険と対応の基本	危険因子・サイン、ゲートキーパー、職場復帰支援、TALKの原則、プリベンション、インターベンション、ポストベンション
		産業保健における取り組み	定期健康診断、ストレスチェック
		自殺対策基本法	基本理念、国・地方公共団体の責務

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
ライフサイクルとメンタルヘルス4			
A04	老年期におけるこころの健康問題と支援	身体疾患と抑うつ状態	生理的老化現象、慢性疾患、喪失体験、疎外感
		老年期うつ	評価尺度、ライフイベント
		加齢と認知症のケア	コミュニケーション方法、アクティビティーケア、カンフォータブルケア、生活・療養環境の調整、倫理的課題と意思決定
		介護家族の体験と支援	家族介護支援、高齢者虐待問題
ライフサイクルとメンタルヘルス5			
A05	周産期のメンタルヘルス	子どもの虐待予防	妊娠期・周産期からの妊産婦支援 多職種連携と地域包括ケアシステム パパカード
		産後うつ	マタニティブルーと産後うつの違い 産後ケア
		各段階におけるかかわり	ライフサイクルと家族看護
ライフサイクルとメンタルヘルス6			
A06	精神障害をもつ人の活動	当事者活動とは	当事者活動の基本理念、ピアサポーター、AA、MAC、DARC
		保健医療専門職との関係	媒介、調整、情報提供
		当事者にとってのグループと専門職への期待	相互理解、自己覚知、エンパワメント
ライフサイクルとメンタルヘルス7			
A07	犯罪被害者への支援	犯罪被害者の権利	犯罪被害者等基本法、犯罪被害者の尊厳
		犯罪被害者のケア	支援ネットワーク、PTSD、ASD
		犯罪被害者等基本法	国・地方公共団体の責務
ライフサイクルとメンタルヘルス8			
A08	災害支援とメンタルヘルス	災害時における対応	防災マニュアル、事業継続計画（Business Continuity Plan:BCP）、災害派遣精神医療チーム（DPAT）、災害時のこころの変化
参考書			
精神保健医療福祉白書2018/2019（中央法規出版） 新版 精神看護学（中央法規） その他、講義で提示予定			

研修会名 認定科目3
方法 オンデマンド配信
日程 2026年8月24日(月)～8月27日(木)
定員 80名
受講料(税込) 14,300円 (非会員 28,600円)

科目名	精神科看護に関連した法規と制度
科目担当講師	草地 仁史 先生 (一般社団法人日本精神科看護協会)
日数	4日間
到達目標	○精神保健医療福祉に関連する法制度について、医療と看護を提供する仕組みを説明できる。 ○精神保健福祉法とその歴史の変遷について説明できる。 ○重大な他害行為を行った人を支える仕組みについて説明できる。 ○精神保健医療福祉に関する政策について説明できる。
学習方法	講義：e-ラーニングの受講
評価方法	筆記試験

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
1. 精神科看護に関連した法規と制度			
精神科看護に関連した法規と制度1			
B01	医療と看護を提供する仕組み1	医療法	医療提供の理念、医療計画、精神科特例、医療圏、包括的指示、具体的指示
		保健師助産師看護師法	行政処分、看護師等の人材確保の促進に関する法律
		診療報酬制度	健康保険、保険者、被保険者、保険給付、高額医療費、中央社会保険医療協議会、出来高払い方式、包括払い方式
		健康増進法	都道府県健康増進計画
精神科看護に関連した法規と制度2			
B02	医療と看護を提供する仕組み2	介護保険法	介護保険制度の目的・理念・基本方針、要介護状態、保険者、被保険者、保険財政、保険給付、要介護認定、ケアマネジャー、地域支援事業、特定疾病
精神科看護に関連した法規と制度3			
B03	医療と看護を提供する仕組み3	個人情報保護法	個人情報、プライバシー、情報セキュリティ、可用性、機密性、完全性、機密情報、情報管理者、情報の破棄、守秘義務、SNS、個人の権利、個人の尊重
精神科看護に関連した法規と制度4			
B04	精神保健福祉法とその歴史の変遷	精神科看護と法制度の歴史	看護人、看護師、精神病患者監護法、精神病院法、精神衛生法、精神保健法、精神保健福祉法、相馬事件、大江事件、ライシャワー事件、池田小学校事件、医療観察法、障害者自立支援法、障害者総合支援法
		精神保健福祉法と関連する制度	精神障がい者、精神科病院、精神保健福祉センター、精神保健指定医任意入院、医療保護入院、措置入院、応急入院、措置入院の運用に関するガイドライン、医療および保護、精神医療審査会、精神障害者保健福祉手帳

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
B04の続き		精神保健福祉法に基づく行動制限の基準と運用の実際	隔離・身体拘束の要件、厚生省告示128号、厚生省告示129号、厚生省告示130号、隔離・身体拘束の解除、介護保険施設、切迫性、非代替性、一時性、緊急避難、行動制限最小化委員会、治療と処遇の違い
精神科看護に関連した法規と制度 5			
B05	精神保健医療福祉に関する政策	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る検討会
精神科看護に関連した法規と制度 6			
B06	重大な他害行為を行った人を支える仕組み	心神喪失者等医療観察法における制度と支援	対象者、対象行為、審判、指定医療機関、鑑定入院入院処遇、通院処遇
精神科看護に関連した法規と制度 7			
B07	地域生活を支える仕組み	障害者総合支援法	支援対象、施設、障害支援区分
		障害者基本法	障がい者、国・地方公共団体の施策
		障害者雇用促進法	雇用義務制度、納付金制度、職業リハビリテーション
精神科看護に関連した法規と制度 8			
B08	発達障害をもつ人を支える仕組み	発達障害者支援法	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠如・多動性障害、発達障害者支援センター
参考書			
精神科看護職のための精神保健福祉法Q & A 令和4年改正・令和6年施行対応版（中央法規出版） 精神保健医療福祉白書2018/2019（中央法規出版） その他、講義で提示予定			

研修会名 認定科目 4
方法 ライブ配信
日程 2026年8月30日(日)~9月2日(水)
定員 80名
受講料(税込) 27,500円 (非会員 55,000円)

科目名	精神科医療の治療を支える技術
科目担当講師	山本 賢司 先生 (東海大学医学部)
日数	2日間
到達目標	○精神機能の分類、障害を具体的に説明できる。 ○精神科診断についての考え方や具体的なアセスメント方法を説明できる。 ○精神科医療の主な治療法を具体的に説明できる。 ○精神科薬物療法について、代表的な向精神薬の作用や副作用等を説明できる。 ○代表的な精神障害の診断およびその治療を説明できる。
学習方法	講義
評価方法	筆記試験
備考	精神科医療の治療を支える技術の科目の前半 (後半は認定科目 5 を参照)

科目名	看護研究
科目担当講師	畦地 博子 先生 (高知県立大学看護学部)
日数	2日間
到達目標	○看護研究の意義とその方法について説明できる。 ○研究のデータの収集および管理に関する留意点を説明できる。 ○データベースを活用して文献を検索でき、文献の活用方法について説明できる。 ○研究成果を公表するためのスキルを習得できる。
学習方法	講義、演習
評価方法	筆記試験

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
1. 精神科医療の治療を支える技術			
精神科医療の治療を支える技術 1			
C01	精神機能論	精神機能の分類	注意集中機能、知覚機能、認知機能、感情機能、学習機能、人格統合機能
		精神機能の障害	意識、知覚、記憶、思考、知能、感情、意欲と行動、自己概念と自己意識
		精神発達論	フロイト、マラー、エリクソン、心的過程、防衛機制、エス(イド)、自我(エゴ)、超自我(スーパーエゴ)、分離-個体化・対象恒常性、生涯発達・葛藤
精神科医療の治療を支える技術 2			
C02	精神科診断学	WHO国際分類ファミリー	ICD (国際疾病分類)、ICF (国際生活機能分類)、ICIDH (国際障害分類)
		精神障害の診断についての考え方	精神医学の歴史、内因性精神障害、外因性精神障害、心因性精神障害、操作的診断、DSM-5、ICD-10、ICD-11
		面接法	精神科診断面接、精神療法面接、ナラティブアプローチ
		検査法とアセスメント	臨床心理検査、神経心理学的検査、髄液検査、脳波 画像診断、臨床評価尺度 (GAF、BPRS、GHQ、HDS-R、PANSS、LASMIなど)
		生活機能評価	ICF (国際生活機能分類)、ICIDH (国際障害分類)

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
精神科医療の治療を支える技術3			
C03	主な治療法	精神療法	支持的精神療法、認知行動療法、精神分析的な精神療法、集団精神療法、家族療法、芸術療法、森田療法、遊戯療法
		身体療法	電気けいれん療法 反復経頭蓋磁気刺激療法 (rTMS) 高照度光療法
精神科医療の治療を支える技術4			
C04	薬物療法	向精神薬開発の歴史、向精神薬の有用性と問題点	精神科治療と向精神薬開発の歴史
		代表的な向精神薬	抗精神病薬、パーキンソン薬、抗うつ薬、中枢神経刺激薬、催眠・鎮静薬、気分安定薬、抗認知症薬、断酒補助剤
		向精神薬の作用機序、作用、副作用、相互作用	食事・嗜好品、他の薬物との相互作用、精神症状の悪化、まぎらわしい副作用、錐体外路症状 クロザリル患者モニタリングサービス (CPMS : Clozaril Patient Monitoring Service)
		発達、性と生殖、加齢等に応じた薬物治療の考え方と基礎	小児、知的障害・発達障害、妊娠・産後、催奇形性、加齢・高齢者
精神科医療の治療を支える技術5			
C05	統合失調症の診断と治療	F2統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害の診断	自我障害、陽性症状、陰性症状、情動的混乱、自閉、強迫性、残遺状態、緊張病症状、常同性
		F2統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害の治療	治療計画、薬剤選択、至適用量、減薬、急性期・慢性期、反応・寛解・回復、スイッチング、ドーパミン過感受性精神病、統合失調症薬物治療ガイドライン2022 持効性注射剤、安全性、再発防止、QOL向上、筋肉内注射の技術、LAI
精神科医療の治療を支える技術6			
C06	気分障害の診断と治療	F3気分（感情）障害の診断	双極及び関連障害（双極Ⅰ型・Ⅱ型、気分循環症、不安性苦悶型、混合型等） 抑うつ障害、自殺念慮、身体性症候群、心理社会的ストレス因子、光トポグラフィー、ECT
		F3気分（感情）障害の治療	治療計画、ガイドライン、薬剤選択、認知行動療法と薬物療法、ECTと薬物療法、反応・寛解・回復
精神科医療の治療を支える技術7			
C07	アディクション関連障害及び不安障害の診断と治療	F1精神作用物質使用による精神および行動の障害の診断と治療	依存と嗜癖、依存症の病態生理、離脱症状 健忘症候群、BPRS、セルフヘルプグループ、行動障害、多幸感及び脱抑制
		F4神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害の診断と治療	恐怖症、パニック障害、不安性障害、強迫性障害、解離性転換性障害、ストレス反応、コーピングと適応、パーソナリティ傾向

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
C07の続き		F5生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群の診断と治療	摂食障害（神経性無食欲症・神経性過食症）、睡眠障害、性功能不全、産褥精神障害
		F6成人のパーソナリティおよび行動の障害の診断と治療法	習慣および衝動の障害、情緒状態、トランス、自己概念、認知機能（ゆがみ）、自傷他害、性的逸脱
		アディクション問題に関連した薬物治療の考え方と基礎	アディクション、アルコール関連障害、違法薬物関連障害、危険ドラッグ、医薬品関連障害、摂食障害、パーソナリティ障害
精神科医療の治療を支える技術8			
C08	認知症及び発達障害の診断と治療	F0症状性を含む器質性精神障害の診断と治療	アルツハイマー型認知症、血管性認知症、器質性健忘症候群、ピック病、せん妄、BPSD、意識障害、脳波、画像所見、HDS -R
		認知症の薬物治療の考え方と基礎	薬物療法の適応、認知症治療薬の種類と選択、抗精神病薬の併用、薬物療法の注意点
		F7精神遅滞（知的障害）の診断と治療	知能水準、行動障害、重複障害、田中ビネー知能検査、WISC - III
		F8心理的発達の障害の診断と治療	遺伝的要因、生物学的成熟、構音障害、言語障害、てんかん、広汎性発達障害、レット症候群、機能発達の障害、社会的機能の障害
		F9小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、特定不能の精神障害の診断と治療	多動性障害、行為障害、反抗挑戦性障害、睡眠覚醒障害、うつ病、不安障害、強迫障害、破壊的衝動、アディクション、ストレス因子関連障害（愛着障害、PTSD等）、コミュニケーション障害
2. 看護研究			
看護研究 1			
L01	看護研究の意義とその方法	臨床看護研究の意義	EBM、EBN、EBP、演繹的思考、帰納的思考、具体理論、中範囲理論、概念モデル、クリティカルシンキング
		看護研究における倫理	ヘルシンキ宣言、人を対象とした医学研究の倫理指針、研究倫理審査委員会(IRB : Institutional Review Board)、利益相反、ミスコンダクト、個人情報の保護
		看護研究の種類と方法	量的研究、質的研究、事例研究、Mixed Method、記述統計、推測統計、名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比尺度、データマイニング
		看護研究活動の諸段階と支援	研究計画書、メンタリング、講評、論文執筆、査読
看護研究2			
L02	研究データの収集および管理に関する留意点	情報管理の3条件	真正性、見識性、保存性
		データに基づく品質管理	データ分析、情報とデータ、情報活用、インジケーター、臨床指標

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
看護研究3			
L03	文献の検索及び活用方法	文献検索と研究結果の活用	文献検索、データベース検索、インパクトファクター、引用率
		特定のテーマについて文献検索の実施	医学中央雑誌、MEDLINE、コクランライブラリ
		検索方法やプロセスにおける工夫の共有	論文のクリティーク
看護研究4			
L04	研究成果を公表するためのスキル	文章構成の基本	論文、小論文、論文の構造、序論、本論、結論
		論理的な主張	引用、参考文献、先行研究、資料
		プレゼンテーションの基本	プレゼンテーション、表現方法、対象、プレゼンテーション機器(プロジェクター、パソコン、USB)
		資料の作り方	文字数、フォント、グラフ、図解、レイアウト、スライドソフト
		看護論文のプレゼンテーション	プレゼンテーションの技法、学会発表
参考書			
ICD10 精神および行動の障害—臨床記述と診断ガイドライン (医学書院)			
DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル (医学書院)			
新版 精神看護学 (中央法規)			
精神科ナースのためのアセスメント&プランニングbooks統合失調症の看護ケア (中央法規)			
精神科ナースのためのアセスメント&プランニングbooksアディクション・パーソナリティ障害の看護ケア (中央法規)			
精神科ナースのためのアセスメント&プランニングbooksうつ病・双極性障害の看護ケア (中央法規)			
精神科ナースのためのアセスメント&プランニングbooks認知症の看護ケア (中央法規)			
黒田裕子の看護研究step by step 第6版 (医学書院)			
ナースのためのレポートの書き方—看護のプロが教える「伝わる文章」の作法 (中央法規出版)			
その他、講義で提示予定			

研修会名 認定科目5
方法 集合（東京研修会場）
日程 2026年9月5日(土)～9月9日(水)
定員 80名
受講料(税込) 36,300円（非会員 72,600円）

科目名	精神科医療の治療を支える技術
科目担当講師	山本 賢司 先生（東海大学医学部）
日数	2日間
到達目標	○個人および集団を対象とする治療技法とそのケアについて説明できる。
学習方法	講義、演習
評価方法	筆記試験
備考	精神科医療の治療を支える技術の科目の後半（前半は認定科目4を参照）

科目名	関係性を築く技術
科目担当講師	多喜田 恵子 先生（岐阜保健大学）
日数	2日間
到達目標	○援助場面における対人関係について説明できる。 ○自己の対人関係の特徴を知るとともに、対人関係を構築し発展させる能力を説明できる。 ○具体的な事例を通して、患者-看護師間の専門的な関係性について考察し、看護現象について他の人に説明できる。 ○人間関係の特徴を学び、再構成法や事例検討という方法を使って、看護場面における関係性の見直しができる。
学習方法	講義、演習、事例検討
評価方法	筆記試験

科目名	精神科看護学
科目担当講師	西池 絵衣子 先生（兵庫県立大学看護学部）
日数	1日間
到達目標	○精神科看護に対する自分の考えを述べることができる。 ○精神科看護実践を支える理論やモデルについて説明できる。 ○看護過程の展開において、精神科看護における看護記録の重要性について説明できる。 ○看護過程においてセルフケア看護モデルを応用することができる。
学習方法	講義、演習
評価方法	課題レポート

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
1. 精神科医療の治療を支える技術			
精神科医療の治療を支える技術9			
C09	個人へアプローチする治療とケア	精神症状のアセスメント	メンタル・ステータス・イグザミネーション（MSE）、意識、知的機能、記憶、知覚、思考、情動、意思、自我
		リラクゼーション	呼吸法、筋弛緩法（漸進的筋弛緩法）、自律訓練法、イメージ法、瞑想法
		マインドフルネス	医療におけるマインドフルネス MBSR（マインドフルネスストレス低減法）、MBCT（マインドフルネス認知療法）、MSC（マインドフル・セルフ・コンパッション）
		アンガーマネジメント	怒りの仕組み、感情のマネジメント

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
精神科医療の治療を支える技術10			
C10	集団へアプローチする治療とケア	SST (社会生活スキルトレーニング)	Living Skills (リビングスキル) Social Skills (ソーシャルスキル) ソーシャルスキルの3段階 入院生活技能訓練療法
		CBT (認知行動療法)	認知行動理論、認知行動療法、集団認知行動療法、認知再構成法、自動思考、スキーマ
		WRAP (元気回復行動プラン)	リカバリー WRAPの6つのプラン
2. 関係性を築く技術			
関係性を築く技術1			
G01	対人関係論1	対人関係の基礎	治療的な患者と看護師の関係、 治療的なコミュニケーション カウンセリング論、 言語的コミュニケーション、 非言語的コミュニケーション、 傾聴、受容、共感
		援助場面における人間関係	関係のプロセス、転移、逆転移、直面化、 抵抗、交流分析、エゴグラム、アサーション
	対人関係論2	医療チームにおける人間関係	多職性協働連携 IPW (Inter Professional work) チームコンフリクト
		援助場面における自己活用・自己 覚知	自己覚知、自己開示、価値観の明確化、 感情の探究、倫理と責任 プロセスレコードの活用、リフレクティング
関係性を築く技術2			
G02	看護におけるグループ アプローチ	グループダイナミクス	グループの役割と機能、 メンバーシップ、リーダーシップ、 グループの発達、グループの構造、 バウンダリー、ビオン (W.R.Bion) 、 グループの種類、凝集性、 コミュニケーションパターン、 ヤーロム (Yalom.I.D)、グループの力と規範
関係性を築く技術3			
G03	精神科看護実践にお ける援助関係1	援助関係、プロセスレコード	ペプロウ、援助関係、 C.ロジャーズ (Carl R.Rogers) 、 プロセスレコード、異和感の対自化、 積極的傾聴、 ナラティブアプローチ、相談面接技法
		事例検討という方法	事例検討会の運営、事例報告用紙の記載方法、 看護事例の4局面、感情活用の4段階、 自己一致、異和感の対自化、 事例検討会参加者の態度類型、 グループスーパービジョン
関係性を築く技術4			
G04	精神科看護実践にお ける援助関係2	患者-看護師関係に焦点を あてた事例検討会	* 上記のキーワードをふまえた演習

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
3. 精神科看護学			
精神科看護学 3			
D03つづき	精神科看護における看護過程の展開	セルフケア看護モデルを活用した看護過程の展開	キーワードをふまえた演習
精神科看護学 4			
D04	精神科認定看護師の実践活動	精神科認定看護師制度	精神科認定看護師制度の目的、役割、精神科認定看護師がめざすべき目標、資格更新
		質の高い看護実践	ニーズの把握、ロールモデル、多職種連携、看護の創造、リフレクション
		相談	コンサルテーション、病棟横断的活動
		指導	教育支援、業務改善活動、委員会活動
		知識の発展	論理的思考、実践の可視化、記述する力、看護研究活動、社会活動、精神科医療・看護への貢献
参考書			
実践 精神科看護テキスト<改訂版> 第2巻対人関係/グループアプローチ/家族関係 (精神看護出版) 新版 精神看護学 (中央法規) 認知行動療法に基づく精神看護過程 (中央法規出版) その他、講義で提示予定			

研修会名 認定科目 6
方法 集合（東京研修会場）
日程 2026年9月12日(土)～9月15日(火)
定員 80名
受講料(税込) 28,600円（非会員 57,200円）

科目名	コンサルテーション論
科目担当講師	畠山 卓也 先生（高知県立大学看護学部）
日数	2日間
到達目標	○コンサルテーションの実践に必要な知識・方法を説明できる ○ケースコンサルテーションを計画し、実践する方法を説明できる。 ○管理に関するコンサルテーションを計画し、実践する方法を説明できる。 ○既習知識を併せて活用し、グループコンサルテーションを計画し、実践する方法を説明できる。
学習方法	講義、演習
評価方法	筆記試験

科目名	教育論
科目担当講師	篠木 由美 先生（一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院）
日数	2日間
到達目標	○成人教育に必要な理論を説明できる。 ○教育プログラムの展開に必要な教育技法を説明できる。 ○院内研修の企画を立案し、発表できる。
学習方法	講義、演習
評価方法	筆記試験

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
1. コンサルテーション論			
コンサルテーション論1			
P01	カプランのコンサルテーションモデル	コンサルテーションの4つタイプ	クライアント中心のケースコンサルテーション、コンサルティ中心のケースコンサルテーション、プログラム中心の管理に関するコンサルテーション、コンサルティ中心の管理に関するコンサルテーション
	コンサルテーションとスーパービジョン	コンサルテーションとスーパービジョンの違い	コンサルテーション、スーパービジョン
	コンサルタントとコンサルティの役割	コンサルタントとコンサルティに求められる役割、能力、姿勢	コンサルタントの役割、コンサルティの役割
	コンサルテーションの実際	コンサルテーションのプロセス	課題の明確化、コンサルテーションタイプの特 定、コンサルテーション方向性と方略、フィードバックと評価、ターミネーション
コンサルテーション論2			
P02	コンサルテーション演習1	ケースコンサルテーションの実際（演習） ※模擬事例を活用して、 <u>クライアント中心のコンサルテーション</u> 、もしくは <u>コンサルティ中心のケースコンサルテーション</u> を計画し、実践する	「コンサルテーション論1」に準ずる

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
コンサルテーション論3			
P03	コンサルテーション演習2	管理に関するコンサルテーションの 実際（演習） ※模擬事例を活用して、 <u>プログラム</u> <u>中心の管理に関するコンサルテ</u> <u>ーション</u> 、もしくは <u>コンサルティ中心</u> <u>の管理に関するコンサルテーション</u> を計画し、実践する	「コンサルテーション論1」に準ずる
コンサルテーション論4			
P04	グループコンサルテ ーションと事例検討	事例検討の技術を応用した、集団 （グループ）へのコンサルテ ーション方法の理解	認定科目「関係性を築く技術」に準ずる
2. 教育論			
教育論1			
M01	教育に必要な理論	成人の学習者のための教育	学習理論、成人学習者の特性、 生涯学習の概念とプロセス、 成人の学習理論、ノールズ(M.S.Knowles)
教育論2			
M02	教育プログラムの展開に 必要な教育技法	教育プログラムとは	教育課程（カリキュラム）、教育プログラム
		教育プログラムの構成	教育目的、教育目標、教育内容、教育方法、 教育評価、 ブルーム（B.S.Bloom）
		学習目標の分類、特徴、意義	言語情報、知的技能、認知的方略、態度
		教材	プレゼンテーション資料、体験的資料、 確認用資料、 用具、器具
		学習形態の種類	一斉学習、グループ学習、個別学習、OJT、 Off-JT、講義型、対話・体験型、e-ラーニング、 ディベート、マルチ学習方式
		教授のスキル	アクティブラーニング
		プログラムの評価	必要性、有効性、効率性、評価指標
教育論3			
M03	院内研修の立案（演習）	研修ニーズの把握と研修目的の設定	研修ニーズの把握、 クリニカルラダーシステム、情報収集、 対象者のアセスメント、研修目的の設定
		プログラムの立案・運営	計画立案、内容の組み立て、教材作成、 運営実施計画
	院内研修企画の発表	院内研修計画の発表	* 上記のキーワードをふまえて発表すること
参考書			
実践 精神科看護テキスト<改訂版> 第5巻コンサルテーション/リーダーシップ （精神看護出版） 新訂 方法としての面接 臨床家のために（医学書院） 実践 精神科看護テキスト<改訂版> 第7巻看護教育/看護研究（精神看護出版） その他、講義で提示予定			

研修会名 認定科目7
方法 ライブ配信
日程 2026年9月18日(金)～9月21日(月)
定員 80名
受講料(税込) 28,600円 (非会員 57,200円)

科目名	安全を守る技術
科目担当講師	鎗内 希美子 先生 (パートナー株式会社訪問看護ステーションぶるーむ)
日数	2日間
到達目標	○急性増悪期の状態にある患者が受ける治療や処遇を踏まえた看護実践方法について説明できる。 ○危機的状況にある対象者への看護実践方法について説明できる。 ○行動制限を最小化するための方略を説明できる。 ○DVや虐待を受けている人への支援を説明できる。
学習方法	講義
評価方法	筆記試験

科目名	地域生活を支える技術
科目担当講師	花田 政之 先生 (医療法人白日出黒川病院)
日数	2日間
到達目標	○精神科領域における退院支援の意義と目的を説明できる。 ○精神科訪問看護の機能と役割を説明できる。 ○精神疾患や認知症をもつ人の地域生活を支える看護実践について説明できる。 ○多職種連携、他機関との連携について説明できる。 ○家族システムの構造や機能を理解し、家族ケアの実践について説明できる。
学習方法	講義
評価方法	筆記試験

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
1. 安全を守る技術			
安全を守る技術1			
H01	急性増悪期の状態にある人へのケア	薬物療法を受ける人へのケア	鎮静、副作用、有害反応、血中濃度、悪性症候群、クロザリル患者モニタリングサービス (CPMS : Clozaril Patient Monitoring Service)
		電気けいれん療法を受ける人へのケア	電気けいれん療法の種類と有害反応、インフォームドコンセント
		行動制限を受ける患者の安全を守るケア	拘禁反応、身体的侵襲、肺塞栓症
安全を守る技術2			
H02	危機的な状態にある人へのケア (危機看護介入)	外来における救急対応	精神科救急外来患者の特徴、来院時のアセスメント、受診拒否、診察準備、病棟と外来の連絡体制、家族への支援、病院と地域
		自殺企図患者の看護	自殺関連行動の把握、危険性の評価、再企図防止
		攻撃性・暴力のある患者の看護	攻撃の心理、アンガーコントロール、包括的暴力防止プログラム (CVPPP)、ディエスカレーション技法、チームテクニクス、ディブリーフィング、暴力のリスクアセスメント

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
安全を守る技術3			
H03	精神科病院における処遇と行動制限	判例にみる行動制限	身体拘束の要件、 不潔行為を理由とする身体拘束、巡回の頻度
		治療の倫理的・法的理解	患者の権利の告知、治療関係の構築、 非自発的入院、行動制限、 インフォームドコンセント
	行動制限を最小化するための方略	行動制限最小化のための アセスメント、基本的考え方	患者・看護者の不安、患者-看護者関係、 臨床状況、症状評価尺度、 Six Core Strategies
	行動制限最小化に向けた看護の実際	緊急時の隔離・身体拘束、 開放観察における看護師の役割、 行動制限最小化の工夫、拘束帯の使用 方法、拘束中の合併症	
安全を守る技術4			
H04	DVや虐待を受けている人への支援	アディクションがもたらす家族への影響	共依存、イネープリング、 アルコール健康障害対策基本法
		DVや虐待への早期介入	DV防止法、児童虐待防止法、 障害者虐待防止法、トラウマ、TIC
		DVや虐待を受けている人の地域生活を護る支援	保健所、福祉事務所、児童相談所、 民生委員など関係機関との連携
2. 地域生活を支える技術			
地域生活を支える技術1			
J01	入院前から始まる退院支援	入院前から始まる退院支援の実際	早期退院、ニューロングステイ、精神障害にも 対応した地域包括ケアシステム
		入院が長期化する要因	入院長期化リスクアセスメント
		非自発的入院患者の退院支援	医療保護入院者退院支援委員会 精神科病院の入・退院に係る役割
地域生活を支える技術2			
J02	多職種協働チームで行う退院支援	地域移行支援の実際	地域移行支援 長期入院、入院医療中心からの脱却 退院前訪問看護 多職種チーム会議（看-看連携、継続看護、 当事者参加も含む） 身体機能評価（ADL、IADL） トランジショナルケア 療養生活継続支援加算
地域生活を支える技術3			
J03	精神疾患をもつ人の地域生活を支える看護実践	精神科訪問看護の基礎	地域精神保健活動（相談、訪問指導、 危機介入） 生活モデル エンパワーメント、リカバリー、 ストレングスモデル クライシスプラン
		精神科訪問看護の実際	GAF、服薬支援 症状悪化時の対応 多職種、他機関との連携

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
地域生活を支える技術4			
J04	認知症をもつ人の地域生活を支える看護実践	介護支援計画に基づく地域生活支援の実際	レスパイト、ショートステイ 認知症類似症状 せん妄をはじめとする周辺症状へのケア カンフォータブル・ケア 身体機能評価（ADL、IADL）
地域生活を支える技術5			
J05	家族へのアプローチ	家族療法の歴史	家族の定義、家族の構造、システム、直線因果律、円環因果律、フィードバック 家族研究・家族療法の発展、 家族システムの視点
		家族療法の変遷と発展	ボーエンの家族システム療法、 ミニューチンの家族構造療法、 MRIのコミュニケーション・アプローチ、 ポストモダニズムと社会構成主義
		ジェノグラムとエコマップ	ジェノグラムとエコマップの目的、描き方、 活用方法
	精神障害をもつ人の家族の実際	家族のおかれている状況	家族会の活動、みんなねっと
		精神疾患患者をもつ家族の理解	家族の感情表出（EE）、家族支援の効果、 家族の心的態度（心理社会的状況）、 情緒的反応のプロセス、孤独感、負担感、 社会資源、 ヤングケアラー
精神保健医療福祉における家族援助の実際	家族援助の方法	家族への理解の仕方、家族援助の必要性、 家族援助の目的、家族援助の基本的姿勢、 家族援助の方法、家族との面接、 家族への心理教育的支援、 心理教育的アプローチ、早期支援	
参考書			
精神科看護職のための精神保健福祉法Q & A 令和4年改正・令和6年施行対応版（中央法規出版）			
精神科訪問看護テキスト 利用者と家族の地域生活を支えるために（中央法規出版）			
多職種連携の技術（中央法規出版）			
精神科ナースのアセスメント&プランニングbooks 家族ケア			
最新CVPPPトレーニングマニュアル2019年（中央法規出版）			
その他、講義で提示予定			

研修会名 認定科目 8
方法 集合（東京研修会場）
日程 2026年9月24日(木)～9月27日(日)
定員 80名
受講料(税込) 28,600円（非会員 57,200円）

科目名	リエゾン精神看護
科目担当講師	木村 千晶 先生（大和市立病院）
日数	2日間
到達目標	○精神科医療における身体合併症への対応について説明できる。 ○一般診療科における精神的問題への対応について説明できる。 ○リエゾン精神看護の実践に必要な主な理論を説明できる。 ○精神科リエゾンチームにおける看護師の役割を説明できる。 ○医療従事者のメンタルヘルスを支える仕組みについて説明できる。
学習方法	講義、演習
評価方法	筆記試験

科目名	看護マネジメント論
科目担当講師	竹居 由香利 先生（社会医療法人加納岩日下部記念病院）
日数	2日間
到達目標	○精神科看護における質の高い看護サービスの提供に必要な役割機能やマネジメントの機能を説明できる。 ○看護提供システムと看護サービスについて説明できる。 ○医療現場の組織づくりにおけるリーダーシップ、チームビルディング、多様な価値観について説明できる。
学習方法	講義、演習
評価方法	筆記試験

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
1.リエゾン精神看護			
リエゾン精神看護1			
K01	精神科医療における身体合併症	精神と身体つながり	中枢神経系、自律神経系、内分泌系、脳から末梢への情報伝達システム、不安・緊張・抑うつによる身体反応、身体化（防衛機制）
		精神科でみられる身体合併症	身体疾患または身体的要因に起因する精神症状・精神疾患 精神症状・精神疾患に起因する身体疾患・症状
		精神疾患患者の身体合併症治療における問題点	インフォームドコンセント、精神科と一般診療科の連携、高齢化
リエゾン精神看護2			
K02	一般診療科における精神的な問題とケア	一般診療科でおこる精神的な問題と対応の基礎	不安状態、怒り、気分障害、せん妄、依存、痛み、摂食障害、産前産後の精神の不調、治療に非協力的な患者、離脱症候群、臨死、家族の問題、自殺念慮、ストレス、ショック状態、慢性疾患患者、終末期（ターミナル）

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
リエゾン精神看護3			
K03	リエゾン精神看護の理念と役割	リエゾン精神看護の歴史と理念、役割	コンサルテーション・リエゾン精神医学の発展、 リエゾン精神看護学の発展、 リエゾン精神看護の目標、 リエゾン精神看護の機能、直接ケア、面接、 リラクゼーション、メンタルヘルス支援
	リエゾン精神看護の基礎となる主な理論	危機理論、防衛機制、ストレスコーピング理論、システム理論など	精神力動論、 オレム・アンダーウッドのセルフケア理論、 対象喪失理論、心身相関の理論、 システム理論、危機理論、 ストレス・コーピング理論
	リエゾンチームと看護職の役割	リエゾンチームと看護職の役割	精神科リエゾンチーム加算、精神状態の評価、 診療実施計画書の作成、カンファレンス、 治療の評価、 チーム連携
リエゾン精神看護4			
K04	医療現場におけるメンタルヘルス	医療従事者のメンタルヘルスと支援	グリーフケア、感情労働
リエゾン精神看護5			
K05	リエゾンコンサルテーションケースに関する事例検討	一般診療科に入院中で、精神的課題をもつケースへの看護実践	心身の状態のアセスメント リエゾンチームの介入方法（連携、時期） 患者家族や医療チームへの介入計画の立案
2. 看護マネジメント論			
看護マネジメント論1			
N01	看護サービス論	看護管理者の役割と業務	看護サービスの概念、 看護サービス管理のプロセス、 看護業務の標準化、看護サービスの質、 保証と評価・改善、 ドナベディアン（Donabedian）の医療の質、 医療安全、 看護サービスマネジメント、 保健・医療・福祉サービスのしくみ、 サービス提供体制の変革、P D C Aサイクル、 カスタマーハラスメント
		精神科看護サービスと患者（顧客）満足	患者（顧客）満足、接遇、マナー
		看護の実践と責任体制	看護基準、看護手順、 病棟（看護単位）の責任体制、 説明と同意、パートナーシップ、 患者の安全と職員の安全確保、 人権擁護と倫理的配慮
		医療の標準化と質の評価	標準化、クリニカルパス 病院機能評価、精神科病院等実地指導、 適時調査、立入検査 評価の目的、評価の方法、評価項目

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
看護マネジメント論2			
N02	価値観の多様化と情報倫理	医療情報の取り扱いの基本	情報リテラシー、守秘義務、道徳、情報倫理
		チームマネジメントにおける多様な価値観の重要性（演習）	集団力動、組織文化、心理的安全性、暗黙知
看護マネジメント論3			
N03	看護提供システム	看護の提供体制、サービスの質の保証	看護職員の配置基準、看護提供方式の種類、病床管理の方法
		入院医療に関する診療報酬と看護の評価	看護必要度、精神科看護度、精神科リエゾンチーム加算、認知症ケア加算、看護補助者加算、看護職員夜間配置加算
		訪問看護に関する診療報酬と看護の評価	健康保険法、介護保険、自立支援医療、診療報酬、機能強化型訪問看護管理療養費 訪問看護ステーション
		看護活動における情報収集の方法とデータの活用	ICT、電子カルテの活用、行動制限に関する一覧性台帳、（感染症サーベイランス、褥瘡対策）
看護マネジメント論4			
N04	組織づくりとリーダーシップ	組織の在り方	組織の定義、組織の成り立ち、集団の機能、組織構造、組織変革、組織文化、組織分析、個人と組織のかかわり、
		問題解決技法	問題の認識、発生型問題、探索型問題、設定型問題、問題解決のプロセス
		組織改革に活かせる理論	変革理論、組織分析の目的、手法、組織開発、ハーシー（P. Hersey）、レビン(K.Lewin)
		リーダーシップ論	リーダーシップの定義、リーダー教育、リーダーの要素、目標管理、キャリア別教育、ロビンズ(S.P.Robbins)、フレデリック・ハーツバーグ(Frederick Herzberg)、F.W.テラー(Frederick Winslow Taylor) リーダーシップの有効性、リーダーシップとマネジメント、リーダーシップ・スタイル、管理者の要件、リーダーの育成
看護マネジメント論5			
N05	組織づくりとチームビルディング	チームビルディングの方法と実践	チーム作り、チームへの貢献、相互作用、役割意識、リーダーシップ、メンバーシップ
参考書			
精神科における予診・初診・初期治療（星和書店） 精神科ナースのためのアセスメント&プランニングbooks 精神科身体ケア（中央法規出版） 疾患別看護過程+病態関連図第5版（医学書院） 学習課題とクイズで学ぶ 看護マネジメント入門 第2版（日本看護協会出版会） その他、講義で提示予定			

演習・実習

研修会名	総合演習
開催場所	役割演習：自施設 実践演習報告会：東京研修会場
日程	役割演習：2026年9月28日（月）～10月9日（金）の期間内 実践演習報告会：2026年10月16日（金）～10月18日（日）
定員	80名
受講料(税込)	45,100円（非会員 90,200円）

科目名	総合演習
科目担当講師	草地 仁史 先生（一般社団法人日本精神科看護協会） 西池 絵衣子 先生（兵庫県立大学看護学部） 花田 政之 先生（医療法人白日会黒川病院） 福田 晶子 先生（桑名医師会立桑名看護専門学校） 湯田 文彦 先生（昨雲会地域ケア事業部兼飯塚病院） 矢田 弓子（公益財団法人積善会曾我病院）
日数	4日間
到達目標	○自施設において、コンサルテーションを実施し、精神科認定看護師としての自己の課題に気づくことができる。 ○自施設において、倫理カンファレンスを実施し、精神科認定看護師としての自己の課題に気づくことができる。 ○自施設において、教育プログラムを実施し、精神科認定看護師としての自己の課題に気づくことができる。 ○自施設において、事例検討会を実施し、精神科認定看護師としての自己の課題に気づくことができる。 ○他者との意見交換をとおして研修会で学んだ知識と自己の経験を統合し、精神科認定看護師としての視点を養い、実習の準備を整えることができる。
学習方法	総合演習実施要項に基づいた自施設における実践、課題レポートの提出、プレゼンテーション、ディスカッションなど
評価方法	提出物、プレゼンテーション、参加態度
備考	役割演習を自施設で実施できない場合は、協会指定施設において実施する。

テーマコード	テーマ	学習内容	キーワード
1. 役割演習			
Q01	役割演習	コンサルテーション実践演習	コンサルテーションの科目に準じる
		看護倫理実践演習	精神科看護における看護理論に準じる
		教育研修実践演習	教育論に準じる
		事例検討実践演習	関係性を築く技術に準じる
2. 総合演習まとめ			
Q02	実践演習報告会	役割演習の報告 臨地実習に向けた課題演習 総合演習の評価	
参考書			
総合演習実施要項を参照			

研修会名 臨地実習 I

開催場所 臨地実習：協会指定実習施設（入院医療部門または外来・在宅部門）
 全体会：東京都内

日程 臨地実習：11月～1月の指定された期間に実施
 全体会：2027年1月24日（日）

受講料(税込) 60,500円（非会員 121,000円）

科目名	臨地実習 I
科目担当講師	草地 仁史 先生（一般社団法人日本精神科看護協会） 西池 絵衣子 先生（兵庫県立大学看護学部） 花田 政之 先生（医療法人白日会黒川病院） 福田 晶子 先生（桑名医師会立桑名看護専門学校） 湯田 文彦 先生（昨雲会地域ケア事業部兼飯塚病院） 矢田 弓子（公益財団法人積善会曾我病院）
日数	18日間
到達目標	○実習要項に示した実習目標とする。
学習方法	実習要項に基づいた実習施設における実践 課題レポートの提出、プレゼンテーション、ディスカッションなど
評価方法	提出物、プレゼンテーション、参加態度

テーマコード	テーマ	学習内容
1. 臨地実習 I		
R01	多様な課題をもつ対象者の看護過程の展開をふまえた精神科認定看護師としての役割の実践	対象者との援助関係の形成 精神科認定看護師としての看護実践 担当看護師・看護チーム・多職種との協働 実践した内容の評価、ケースカンファレンス
	実習場所・実習施設のニーズを把握し、精神科認定看護師としての役割の実践	実習場所・実習施設のニーズや課題の把握 精神科認定看護師としての役割（実践、相談、指導、知識の発展）の遂行 実施した内容の評価
2. 臨地実習 I のまとめ（全体会）		
R02	受け持った対象者への支援や企画案に関する取り組みの報告	精神科認定看護師としての自己の課題の共有 プレゼンテーション、グループディスカッション
参考書		
実習要項を参照		

研修会名 臨地実習Ⅱ

開催場所 臨地実習：自施設を基本（臨地実習Ⅰとは異なる部門）

全体会：東京都内

日程 臨地実習：11月～1月の指定された期間

全体会：2027年1月24日（日）

受講料(税込) 20,900円（非会員 41,800円）

科目名	臨地実習Ⅱ	
科目担当講師	草地 仁史 先生（一般社団法人日本精神科看護協会） 花田 政之 先生（医療法人白日出会黒川病院） 湯田 文彦 先生（昨雲会地域ケア事業部兼飯塚病院）	西池 絵衣子 先生（兵庫県立大学看護学部） 福田 晶子 先生（桑名医師会立桑名看護専門学校） 矢田 弓子（公益財団法人積善会曾我病院）
日数	6日間	
到達目標	○実習要項に示した実習目標とする。	
学習方法	実習要項に基づいた実習施設における実践 課題レポートの提出、プレゼンテーション、ディスカッションなど	
評価方法	提出物、プレゼンテーション、参加態度	
備考	実習を自施設で実施できない場合は、協会指定施設において実施する。	

テーマコード	テーマ	学習内容
1. 臨地実習Ⅱ		
S01	多職種協働によるケースマネジメントに参画し、精神科認定看護師としての役割の実践	アセスメント、プランニング、看護実践 看看連携、多職種協働 多職種カンファレンス
	実習施設の地域連携活動に参画し、精神科認定看護師としての役割の実践	実習施設の機能・役割の把握 活動計画（企画案）の作成、実施、修正
2. 臨地実習Ⅱのまとめ（全体会）		
S02	受け持った対象者への支援と活動計画（企画案）の報告	精神科認定看護師としての自己の課題の共有 プレゼンテーション、グループディスカッション
参考書		
実習要項を参照		

參考資料

参考資料 精神科認定看護師教育課程における共通科目の時間数について

本教育課程における共通科目は厚生労働省の「特定行為に係る看護師の研修制度」に定められた学習内容を実施する。

本教育課程の時間数は、「45分=1時間」とする、「みなし時間」で表記をしている。

科目名	厚生労働省の定める 時間数（実時間）	本教育課程の 時間数（みなし時間）
臨床病態生理学	30	40
臨床推論	45	60
フィジカルアセスメント	45	60
臨床薬理学	45	60
疾病・臨床病態概論	40	55
医療安全学／特定行為実践	45	60
合計時間数	250	335